

# バリューチェーンの強化



ヤマシンフィルタ株式会社

2022年3月期 第3四半期

決算説明資料

2022年2月4日

## 2022年3月期第3四半期における事業環境・当社取り組みについて

### 事業環境

#### ・ 建機用フィルタ事業

⇒ 物流コストの継続的な高騰、原材料価格高騰による影響はあるものの、**建機需要は好調に推移、中国市場は下期に入り需要減速傾向**

#### ・ エアフィルタ事業・ヘルスケア事業

⇒ 社会・生活様式の変化や、世界の直面する気候変動や環境課題のもと**当社のビジネス拡大機会が到来**



### 当社SDGsへの取り組み

#### 「YAMASHIN Nano Filter®」展開

##### ◆ 建機用フィルタビジネス

⇒ **高付加価値かつサステナブルな製品・技術の普及によるGHG (Green House Gas=温室効果ガス) 排出量削減に貢献**

##### ◆ エアフィルタビジネス

⇒ **ナノファイバー製品・技術により、GHG排出量削減、気候変動、環境課題解決に貢献**

##### ◆ ヘルスケアビジネス

⇒ **高機能マスク普及により健康被害リスク低減に貢献**

##### ◆ その他事業ポートフォリオ確立

⇒ **アパレル、油吸着材、その他産業資材への活用によりサステナブルな製品供給拡大**

### 2022年3月期 第3四半期 業績動向

#### ● 連結売上高：前年同期比36.5%増収の141億88百万円

- ・ 建機用フィルタ：前年同期比 52.0%増収の 117億68百万円
- ・ エアフィルタ：前年同期比 3.3%減収の 18億94百万円
- ・ ヘルスケア：前年同期比 24.3%減収の 5億26百万円

#### ● 営業利益：11億8百万円（前年同期 1億46百万円の営業損失）

- ・ 建機用フィルタ事業は、物流コストや原材料価格が高騰するも大幅な売上高増加に伴い大幅増益
- ・ エアフィルタ事業は、オフィスビル等の稼働率低下の影響による需要減少に伴い減益
- ・ ヘルスケア事業は、主力商品である高機能マスクの需要大幅減少により営業損失

## 当社取り組みについて（詳細）

- バリューチェーンの再編・強化を全事業で実施
- ESGへの取り組みと事業ポートフォリオ拡大を両立
- 建機事業はサプライチェーンの見直しにより収益力を強化
- エアフィルタ事業の生産性向上による収益改善を図る

### 建機用フィルタビジネス

#### 新素材やIoT技術を活かした高付加価値フィルタ製品ラインナップの拡充

ナノファイバー製ロングライフフィルタ、エアレーション技術、センサ技術を搭載したフィルタ製品の展開を実施

#### 北米市場、中国市場のシェア拡大

当社主力製品であるリターンフィルタに加え、燃料用、トランスミッション用フィルタ等の新規採用提案、中国系建機メーカーへの採用実績が進展

### エアフィルタビジネス

#### 欧米市場でのエアフィルタ性能規格取得（ASHRAE、EN等）による海外市場開拓

#### ナノファイバー製エアフィルタ供給拡大

ナノファイバー製エアフィルタのオフィスビル、病院、工場、鉄道車両、等への採用を加速

### ヘルスケアビジネス

#### 市場環境が大幅に変化

事業環境の大きな変化に伴い主要設備投資の減損を実行し、利益改善を図る

### その他事業ポートフォリオ確立 「YAMASHIN Nano Filter®」展開

#### 産業資材としての市場領域の拡大

YAMASHIN Nano Filter®の各種産業資材としての活用に向けた採用提案を実施

I

2022年3月期第3四半期実績及び2022年3月期通期見通し

P4

II

市場を取り巻く環境

P31

III

今後の戦略

P47



# 決算

## I 2022年3月期第3四半期実績及び 2022年3月期通期見通し

# 2022年3月期 第3四半期業績 (2021年10月~12月)

		2021/3期	2022/3期	前年同期比	
		Q3 実績	Q3 実績	増減額 (百万円)	増減率
		金額 (百万円)	金額 (百万円)		
売上高		3,831	4,632	801	20.9%
	建機用フィルタ※	2,853	3,910	1,056	37.0%
	エアフィルタ	669	642	△27	△4.1%
	ヘルスケア	308	79	△228	△74.1%
営業利益 (セグメント利益)		△96	225	322	-
	建機用フィルタ※	370	660	289	78.1%
	エアフィルタ	30	37	6	21.5%
	ヘルスケア	△124	△106	18	-
	全社費用	△372	△365	7	-
<b>営業利益率</b>		<b>△2.5%</b>	<b>4.9%</b>	<b>7.4Pt</b>	
経常利益		△72	202	275	-
<b>経常利益率</b>		<b>△1.9%</b>	<b>4.4%</b>	<b>6.3Pt</b>	
四半期純利益		536	△416	△953	-
<b>四半期純利益率</b>		<b>14.0%</b>	<b>△9.0%</b>	<b>△23.0Pt</b>	
為替レート (円) (期中平均値)	USD	106.1	111.1	5.0	4.7%
	EUR	122.4	130.6	8.3	6.7%

※「建機用フィルタ」には、建機用フィルタ、産業用フィルタ、プロセス用フィルタを含みます

\*各セグメントの業績及び全社費用をよりの確に把握するため、当社の各報告セグメントに帰属しない本社及び一部子会社の管理部門の一般管理費等の全社費用につきましては、全社費用を別掲することにより、前連結会計年度より所定のセグメントに配賦しない方法に変更しております。そのため、前第3四半期数値については変更後の区分により作成したものを掲載しています。

	2021/3期 Q3 実績	2022/3期 Q3 実績	前年同期比	
	金額（百万円）	金額（百万円）	増減額（百万円）	増減率
建機用フィルタ	2,541	3,488	946	37.2%
ライン品	1,127	1,382	255	22.7%
補給品	1,414	2,105	690	48.8%
産業用フィルタ	105	159	53	50.3%
プロセス用フィルタ	206	263	56	27.2%
建機用フィルタ 合計	2,853	3,910	1,056	37.0%
エアフィルタ	669	642	△27	△4.1%
ヘルスケア	308	79	△228	△74.1%
売上高合計	3,831	4,632	801	20.9%

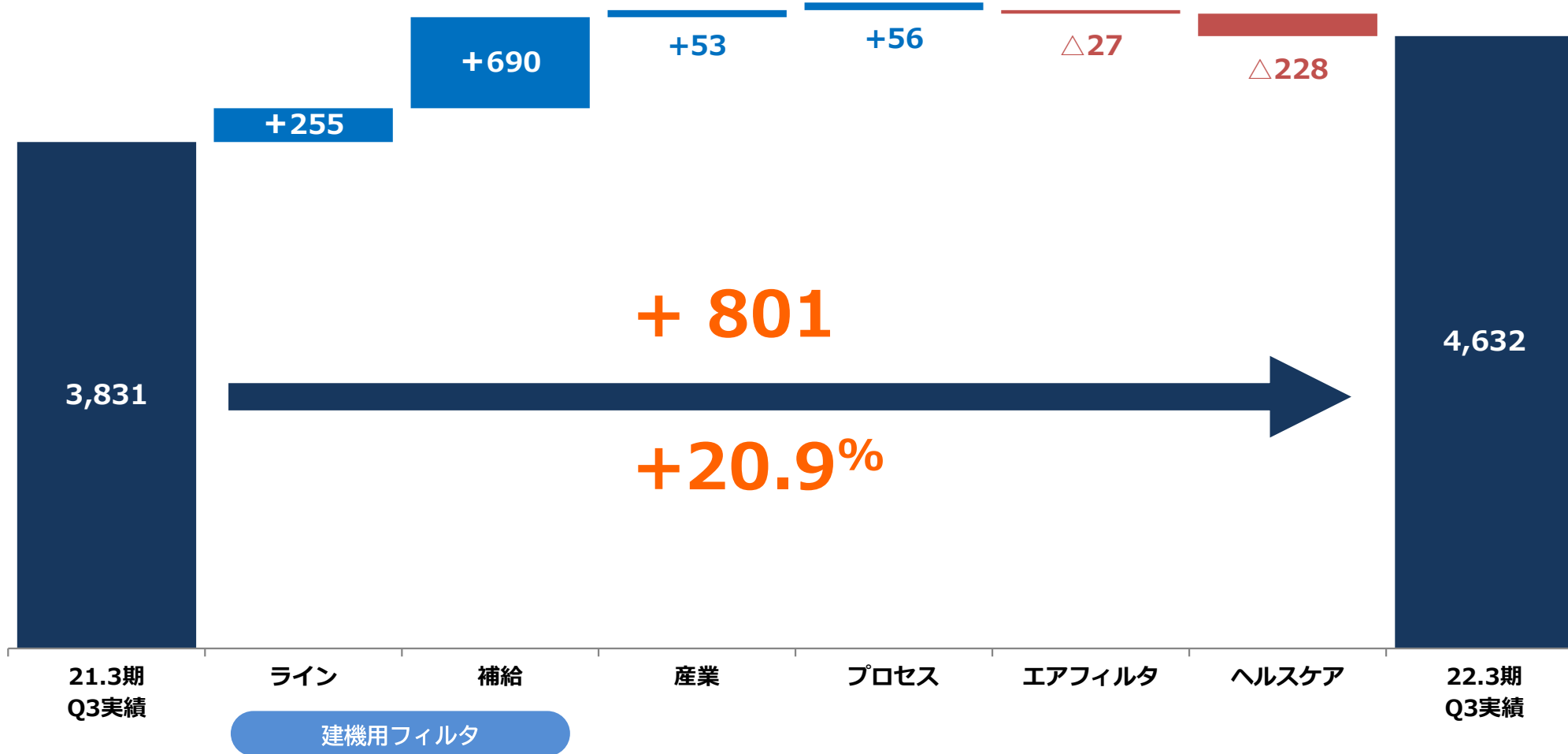


	2021/3期 Q3 実績		2022/3期 Q3 実績		前年同期比	
	金額（百万円）	構成比	金額（百万円）	構成比	増減額（百万円）	増減率
建機用フィルタ※	2,853	74.5%	3,910	84.4%	1,056	37.0%
国内	1,330	34.7%	1,961	42.3%	630	47.4%
北米	507	13.3%	655	14.2%	148	29.2%
中国	454	11.9%	374	8.1%	△80	△17.7%
アジア	252	6.6%	371	8.0%	119	47.3%
欧州	309	8.1%	547	11.8%	238	77.2%
その他（中東他）	0	0.0%	0	0.0%	0	△76.0%
エアフィルタ（国内）	669	17.4%	642	13.9%	△27	△4.1%
ヘルスケア（国内）	308	8.0%	79	1.7%	△228	△74.1%
売上高合計	3,831	100.0%	4,632	100.0%	801	20.9%

※「建機用フィルタ」には、建機用フィルタ、産業用フィルタ、プロセス用フィルタを含みます。

\* 当社は請求書送付先基準のため、実際の地域別市場動向と差異が出ます。

(単位：百万円)



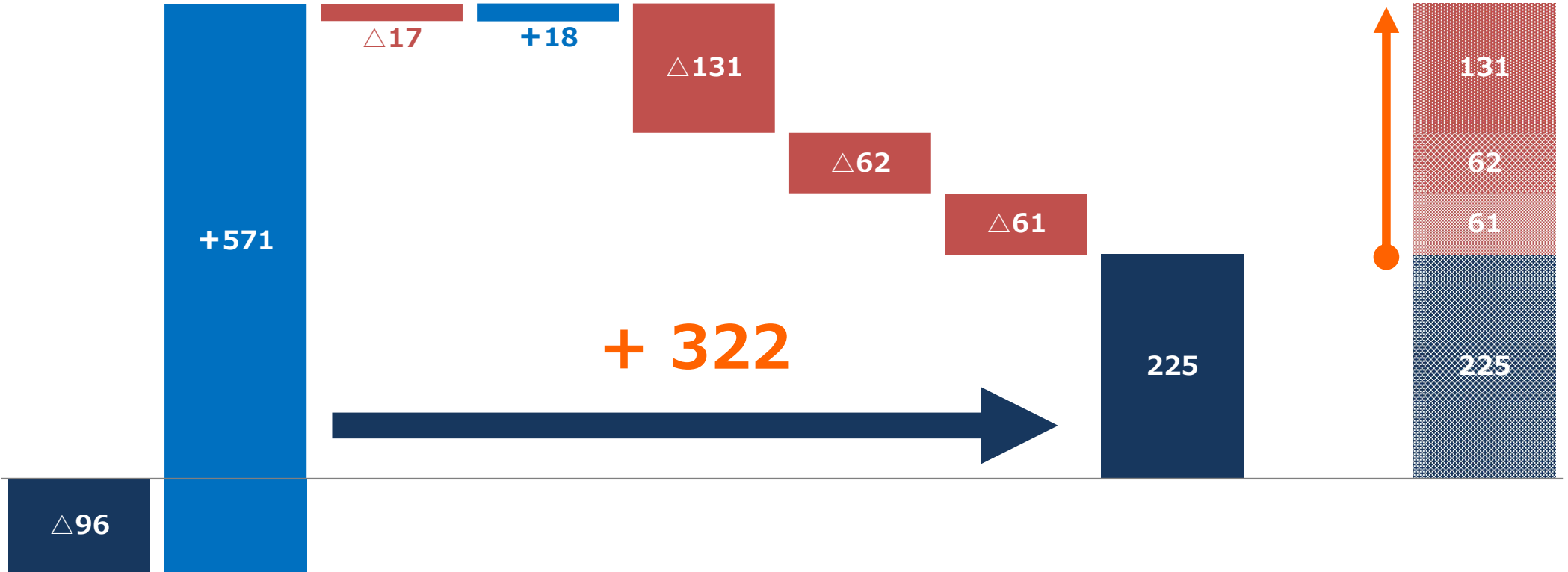
# 営業利益の増減要因（2021/10-12）

(単位：百万円)

営業利益率  
△2.5%

営業利益率  
4.9%

営業利益率  
10.3%



△96

営業利益  
21.3期  
Q3実績

【建機】  
販売増加  
に伴う増益

【エアフィルタ】  
販売減少・  
固定経費増加  
に伴う減益

【ヘルスケア】  
販売管理費減少  
に伴う増益

【建機】  
海上輸送費増加  
に伴う減益

【建機】  
航空運賃発生  
に伴う減益

【建機】  
材料費高騰  
に伴う減益

営業利益  
22.3期  
Q3実績

本来の収益力  
22.3期  
Q3

# 2022年3月期 第3四半期 累計業績 (2021年4月~12月)



		2021/3期	2022/3期	前年同期比	
		Q3累計 実績	Q3累計 実績	増減額 (百万円)	増減率
		金額 (百万円)	金額 (百万円)		
売上高		10,394	14,188	3,793	36.5%
	建機用フィルタ※	7,742	11,768	4,026	52.0%
	エアフィルタ	1,957	1,894	△63	△3.3%
	ヘルスケア	694	526	△168	△24.3%
営業利益 (セグメント利益)		△146	1,113	1,260	-
	建機用フィルタ※	798	2,511	1,713	214.7%
	エアフィルタ	117	48	△68	△58.5%
	ヘルスケア	△18	△342	△324	-
	全社費用	△1,043	△1,104	△60	-
<b>営業利益率</b>		<b>△1.4%</b>	<b>7.8%</b>	<b>9.3Pt</b>	
経常利益		△133	1,078	1,212	-
<b>経常利益率</b>		<b>△1.3%</b>	<b>7.6%</b>	<b>8.9Pt</b>	
四半期純利益		384	△88	△472	-
<b>四半期純利益率</b>		<b>3.7%</b>	<b>△0.6%</b>	<b>△4.3Pt</b>	
為替レート (円) (期中平均値)	USD	106.1	111.1	5.0	4.7%
	EUR	122.4	130.6	8.3	6.7%

※「建機用フィルタ」には、建機用フィルタ、産業用フィルタ、プロセス用フィルタを含みます。

\*各セグメントの業績及び全社費用をより的確に把握するため、当社の各報告セグメントに帰属しない本社及び一部子会社の管理部門の一般管理費等の全社費用につきましては、全社費用を別掲することにより、前連結会計年度より所定のセグメントに配賦しない方法に変更しております。そのため、前第3四半期数値については変更後の区分により作成したものを掲載しています。

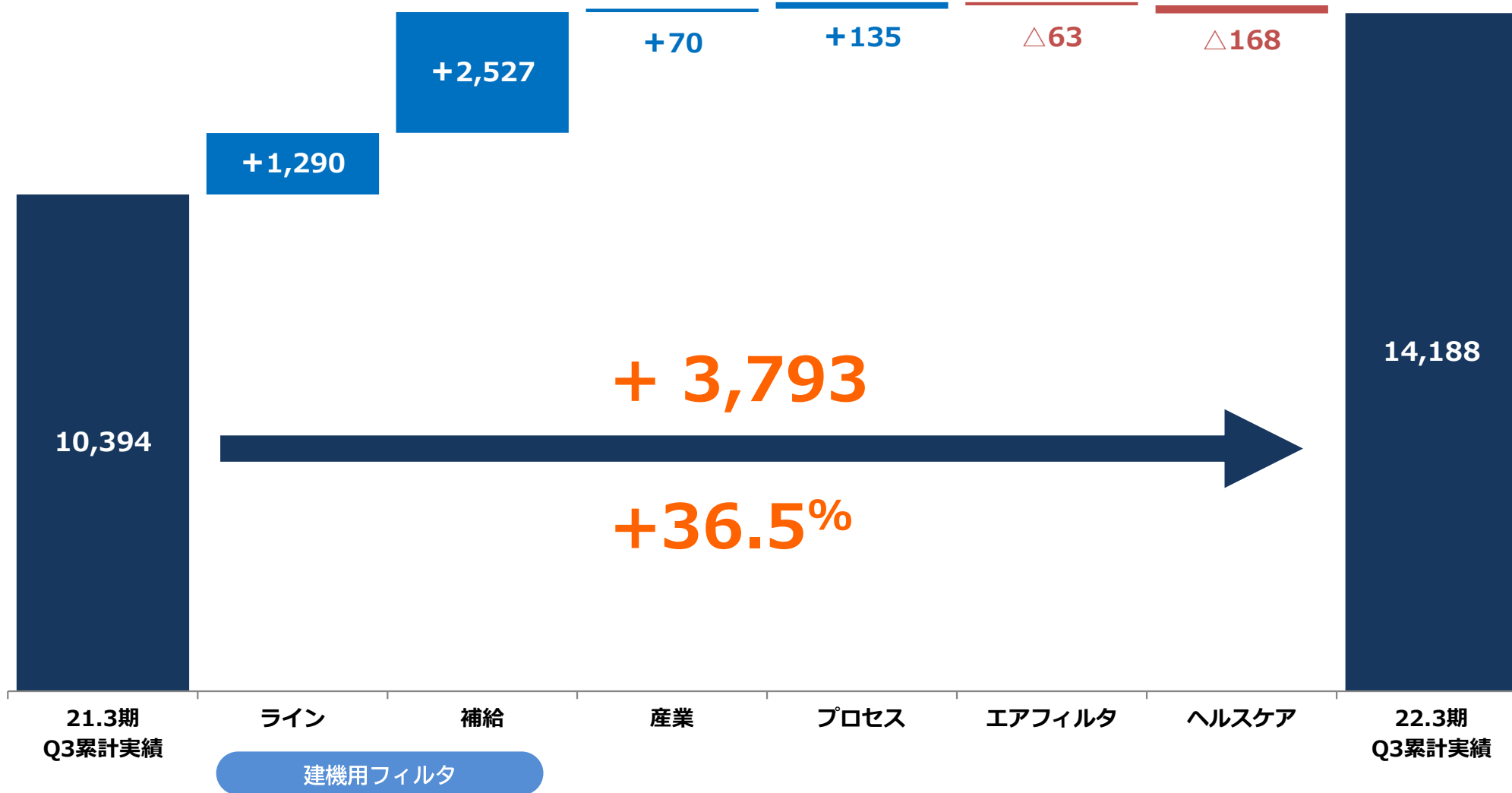
	2021/3期 Q3累計 実績	2022/3期 Q3累計 実績	前年同期比	
	金額（百万円）	金額（百万円）	増減額（百万円）	増減率
建機用フィルタ	6,841	10,660	3,819	55.8%
ライン品	2,877	4,168	1,290	44.9%
補給品	3,964	6,492	2,527	63.8%
産業用フィルタ	343	414	70	20.5%
プロセス用フィルタ	558	693	135	24.3%
建機用フィルタ 合計	7,742	11,768	4,026	52.0%
エアフィルタ	1,957	1,894	△63	△3.3%
ヘルスケア	694	526	△168	△24.3%
売上高合計	10,394	14,188	3,793	36.5%

	2021/3期 Q3累計 実績		2022/3期 Q3累計 実績		前年同期比	
	金額（百万円）	構成比	金額（百万円）	構成比	増減額（百万円）	増減率
建機用フィルタ※	7,742	74.5%	11,768	82.9%	4,026	52.0%
国内	3,504	33.7%	5,552	39.1%	2,048	58.5%
北米	1,363	13.1%	2,246	15.8%	883	64.8%
中国	1,131	10.9%	1,318	9.3%	187	16.5%
アジア	876	8.4%	1,289	9.1%	412	47.0%
欧州	864	8.3%	1,359	9.6%	494	57.2%
その他（中東他）	2	0.0%	1	0.0%	0	△32.7%
エアフィルタ（国内）	1,957	18.8%	1,894	13.3%	△63	△3.3%
ヘルスケア（国内）	694	6.7%	526	3.7%	△168	△24.3%
売上高合計	10,394	100.0%	14,188	100.0%	3,793	36.5%

※ 「建機用フィルタ」には、建機用フィルタ、産業用フィルタ、プロセス用フィルタを含みます。

\* 当社は請求書送付先基準のため、実際の地域別市場動向と差異が出ます。

(単位：百万円)





# 営業利益の増減要因 (2021/4-12)

(単位：百万円)

営業利益率  
△1.4%

+2,294

△119

△324

△264

△215

△113

営業利益率  
7.8%

1,113

+ 1,260

営業利益率  
12.0%

1,705

264

215

113

1113

△146

営業利益  
21.3期  
Q3累計実績

[建機]  
販売増加  
に伴う増益

[エアフィルタ]  
販売減少・  
固定経費増加  
に伴う減益

[ヘルスケア]  
販売減少  
に伴う減益

[建機]  
海上輸送費増加  
に伴う減益

[建機]  
航空運賃発生  
に伴う減益

[建機]  
材料費高騰  
に伴う減益

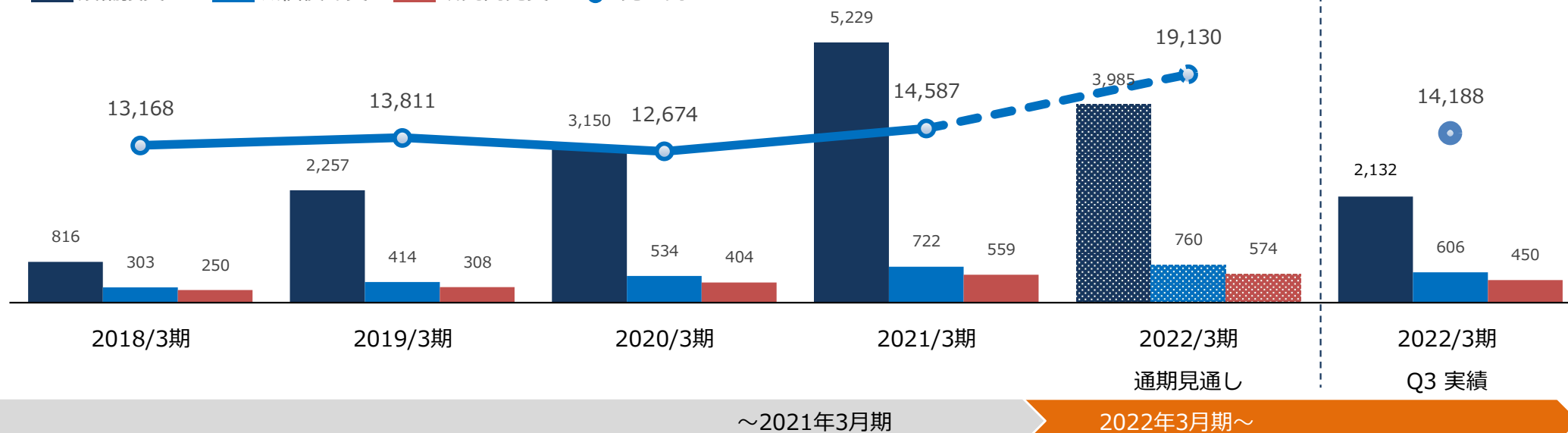
営業利益  
22.3期  
Q3累計実績

本来の収益力  
22.3期  
Q3累計

単位   百万円	2018年3月期 実績	2019年3月期 実績	2020年3月期 実績	2021年3月期 実績	2022年3月期 通期見通し	2022年3月期 Q3 実績
売上高	13,168	13,811	12,674	14,587	19,130	14,188
設備投資額	816	2,257	3,150	5,229	3,985	2,132
土地・建物	-	1,588	2,682	3,194	3,233	1,481
その他設備投資	816	669	468	2,036	752	651
<b>売上高比率</b>	<b>6.2%</b>	<b>16.3%</b>	<b>24.9%</b>	<b>35.9%</b>	<b>20.8%</b>	<b>15.0%</b>
減価償却費	303	414	534	722	760	606
<b>売上高比率</b>	<b>2.3%</b>	<b>3.0%</b>	<b>4.2%</b>	<b>5.0%</b>	<b>4.0%</b>	<b>4.3%</b>
研究開発費	250	308	404	559	574	450
<b>売上高比率</b>	<b>1.9%</b>	<b>2.2%</b>	<b>3.2%</b>	<b>3.8%</b>	<b>3.0%</b>	<b>3.2%</b>

## 売上高及び設備投資額・減価償却費・研究開発費の推移

■ 設備投資額 ■ 減価償却費 ■ 研究開発費 ● 売上高



生産技術・管理・システムの総合的な改善を実施し、利益体制の強化を図る

**PAC21**



**P**romptly  
迅速



**A**ctivated  
かつ効果的な



**C**ost reduction  
コスト削減計画

20



■ 削減目標金額（期初目標から修正）

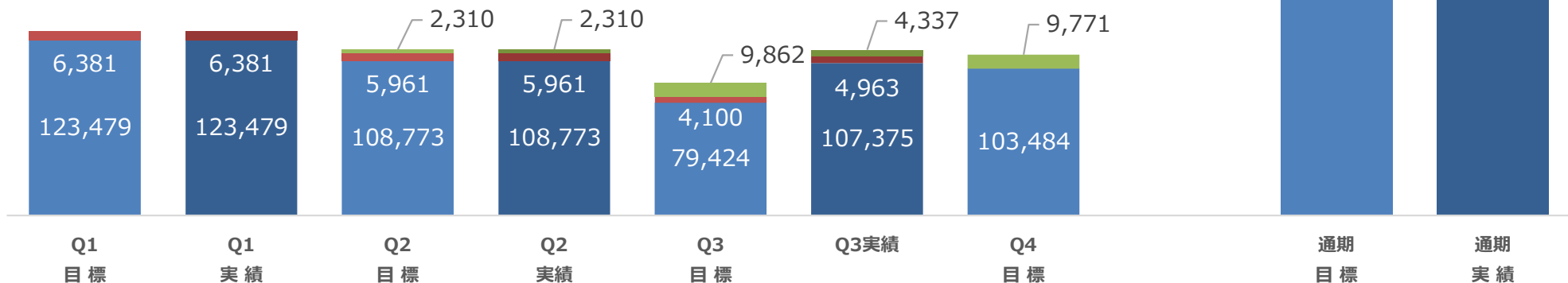
単位：千円

		Q1	Q1 実績	Q2	Q2 実績	Q3	Q3 実績	Q4	通期	通期 実績
PAC21	製造原価	123,479	123,479	108,773	108,773	79,424	107,375	103,484	415,160	339,627
	販管費	6,381	6,381	5,961	5,961	4,100	4,963	0	16,442	17,305
	計	129,860	129,860	114,734	114,734	83,524	112,338	103,484	431,602	356,932
PAC21+		0	0	2,310	2,310	9,862	4,337	9,771	21,943	6,648
総合計		129,860	129,860	117,044	117,044	93,386	116,676	113,254	453,544	363,580

通期進捗率  
**80.2%**

■ 進捗状況

■ 製造原価 ■ 販管費 ■ PAC21+ (単位：千円)



管理部門にとどまらず、現場にまで  
企業価値向上の目標数値を落とし込む

## MAVY'Sとは (ROIC - WACC)

**M**aximizing  
**A**dded  
**V**alue of  
**Y**amashin Filter  
**S**pread

投下資本の利潤最大化を目指し、  
各責任部署が (KPI) を設定し  
業務に取り組む (KSF) ための  
最重要指標 (KGI)

MAVY's  
スプレッド拡大により  
ステークホルダーの期待に応える

各指標に対して、担当部署を  
割り振り、各KPIを設定して  
目標達成に向けた業務運営を  
全社にて行う



# MAVY'sの全体像と責任部署 (2022/3期 修正予想)

Key Goal Indicator (KGI)	Key Performance Indicator (KPI)	Key Success Factor (KSF)	責任部署	22.3期部門目標 (action plan)	22.3期進捗																																																			
<b>MAVY's</b> Prv: -11.3% Cur: 1.1%	<b>売上高営業利益率</b> Prv: -1.0% Cur: 10.2%	<b>ROIC</b> Prv: -1.4% Cur: 6.4%	<b>売上総利益率</b> Prv: 39.8% Cur: 43.1%	<b>売上高伸長率</b> Prv: 15.1% Cur: 31.1%	<b>新製品開発 純正率向上</b>	<b>営業・開発</b>	・中国企業への参入拡大・加速 ・エアフィルタラインナップによる製品・提案力強化 ・マスク関連製品市場への進出 ・新規事業領域への進出	・中国系建機メーカー向け新機種採用実績向上 ・ハイブリッドフィルタの各社提案進展 ・マスク関連製品の販売開始量産供給量拡大 ・アパレル業界向け供給継続進展 (脱ダウン)																																																
									<b>WACC</b> Prv: 9.9% Cur: 5.3%	<b>売上原価率</b> Prv: 60.2% Cur: 56.9%	<b>購買力強化 歩留り改善</b>	<b>生産・SCM</b>	・PAC21 ・購買力強化 ・生産管理の改善	・購買先の評価基準の見直しと集約実施完了 ・共通購買(アクション)による調達コスト削減 ・計画的な保守・保全実施による歩留まり改善、製造原価削減実行進展																																										
															<b>ROE</b> Prv: 3.9% Cur: 3.6%	<b>減価償却費率</b> Prv: 4.6% Cur: 4.0%	<b>投資計画</b>	<b>経営企画 財務経理</b>	・M&A (収益拡大・経営安定化手段) →M&A先企業の情報収集 →不織布事業体買収(下流) →新素材開発企業買収(上流)	・国内外のM&Aデータの収集並びに潜在可能性あるM&A先とのコミュニケーションの強化 (電話会議等)																																				
																					<b>ROA</b> Prv: 3.0% Cur: 2.5%	<b>販管費率</b> Prv: 40.8% Cur: 32.9%	<b>研究開発費率</b> Prv: 3.8% Cur: 3.0%	<b>テーマの絞り込み 優先順位</b>	<b>開発</b>	・新素材の開発 ・IoTの取り組み ・エアレーション他技術開発 ・マスク次期モデル開発	・ナノファイバー製エアフィルタ製品化加速 ・各得意先各種センサー試験品供給 ・産学連携による新素材開発の加速 ・高機能マスク、布マスク開発																													
																												<b>投下資本回転率</b> Prv: 0.6 Cur: 0.9	<b>人件費率</b> Prv: 16.1% Cur: 13.4%	<b>最適な人員構成</b>	<b>人事・総務</b>	・タレントマネジメント制度策定・運用	・次世代マネジメント層の発掘 ・製品開発に向けた研究要員の増員 ・事業再編にかかる職業専門家スタッフの採用																							
																																		<b>運転資本回転率</b> Prv: 2.7 Cur: 7.2	<b>売上債権回転率</b> Prv: 3.4 Cur: 4.4	<b>債権管理</b>	<b>営業 財務経理</b>	・債権回収率の改善	・運転資金改善に向けた債権回収の効率化・合理化対応																	
																																								<b>固定資産回転率</b> Prv: 1.1 Cur: 1.4	<b>棚卸資産回転率</b> Prv: 4.9 Cur: 5.4	<b>適正在庫の設定</b>	<b>生産 営業</b>	・全社棚卸資産の圧縮	・棚卸資産のバレット分析に基づく適正在庫量の決定ならびに削減計画の実行中											
																																														<b>有形固定資産回転率</b> Prv: 1.3 Cur: 1.7	<b>仕入債務回転率</b> Prv: 4.5 Cur: 4.8	<b>債務管理</b>	<b>SCM 生産</b>	・ワーキングキャピタル改善	・運転資金の改善に向けた債務支払い回転率の適正化					
																																																				<b>無形固定資産回転率</b> Prv: 44.2 Cur: 60.3	<b>設備計画 (R&amp;D・生産)</b>	<b>経営企画 総務・生産・開発</b>	・投資回収効果最適化	・投資収益回収期間の妥当性分析による開発及びR&D投資、優先判断の実行

※KPI算定の前提  
 Prv : 2021/3期 年間実績値  
 Cur : 2022/3期 修正予想

# MAVY'sの全体像と責任部署 (2022/3期 Q3実績値)

Key Goal Indicator (KGI)	Key Performance Indicator (KPI)	Key Success Factor (KSF)	責任部署	22.3期部門目標 (action plan)	22.3期進捗																																																			
<b>MAVY's</b> Prv: -11.2% Cur: -1.1%	<b>売上高営業利益率</b> Prv: -1.4% Cur: 7.8%	<b>ROIC</b> Prv: -1.3% Cur: 4.2%	<b>売上総利益率</b> Prv: 39.9% Cur: 40.8%	<b>売上高伸長率</b> Prv: 13.2% Cur: 36.5%	<b>新製品開発 純正率向上</b>	<b>営業・開発</b>	・中国企業への参入拡大・加速 ・エアフィルタラインナップによる製品・提案力強化 ・マスク関連製品市場への進出 ・新規事業領域への進出	・中国系建機メーカー向け新機種採用実績向上 ・ハイブリッドフィルタの各社提案進展 ・マスク関連製品の販売開始量産供給量拡大 ・アパレル業界向け供給継続進展 (脱ダウン)																																																
									<b>WACC</b> Prv: 9.9% Cur: 5.3%	<b>売上原価率</b> Prv: 60.1% Cur: 59.2%	<b>購買力強化 歩留り改善</b>	<b>生産・SCM</b>	・PAC21 ・購買力強化 ・生産管理の改善	・購買先の評価基準の見直しと集約実施完了 ・共通購買(アクション)による調達コスト削減 ・計画的な保守・保全実施による歩留まり改善、製造原価削減実行進展																																										
															<b>ROE</b> Prv: 2.0% Cur: -0.4%	<b>減価償却費率</b> Prv: 4.7% Cur: 4.1%	<b>投資計画</b>	<b>経営企画 財務経理</b>	・M&A (収益拡大・経営安定化手段) →M&A先企業の情報収集 →不織布事業体買収(下流) →新素材開発企業買収(上流)	・国内外のM&Aデータの収集並びに潜在可能性あるM&A先とのコミュニケーションの強化 (電話会議等)																																				
																					<b>ROA</b> Prv: 1.6% Cur: -0.3%	<b>販管費率</b> Prv: 41.3% Cur: 33.0%	<b>研究開発費率</b> Prv: 4.0% Cur: 3.2%	<b>テーマの絞り込み 優先順位</b>	<b>開発</b>	・新素材の開発 ・IoTの取り組み ・エアレーション他技術開発 ・マスク次期モデル開発	・ナノファイバー製エアフィルタ製品化加速 ・各得意先各種センサー試験品供給 ・産学連携による新素材開発の加速 ・高機能マスク、布マスク開発																													
																												<b>投下資本回転率</b> Prv: 0.5 Cur: 0.7	<b>人件費率</b> Prv: 16.5% Cur: 13.5%	<b>最適な人員構成</b>	<b>人事・総務</b>	・タレントマネジメント制度策定・運用	・次世代マネジメント層の発掘 ・製品開発に向けた研究要員の増員 ・事業再編にかかる職業専門家スタッフの採用																							
																																		<b>運転資本回転率</b> Prv: 2.2 Cur: 5.3	<b>売上債権回転率</b> Prv: 2.5 Cur: 3.2	<b>債権管理</b>	<b>営業 財務経理</b>	・債権回収率の改善	・運転資金改善に向けた債権回収の効率化・合理化対応																	
																																								<b>固定資産回転率</b> Prv: 1.6 Cur: 2.2	<b>棚卸資産回転率</b> Prv: 3.7 Cur: 4.0	<b>適正在庫の設定</b>	<b>生産 営業</b>	・全社棚卸資産の圧縮	・棚卸資産のバレット分析に基づく適正在庫量の決定ならびに削減計画の実行中											
																																														<b>有形固定資産回転率</b> Prv: 1.0 Cur: 1.3	<b>仕入債務回転率</b> Prv: 2.8 Cur: 3.4	<b>債務管理</b>	<b>SCM 生産</b>	・ワーキングキャピタル改善	・運転資金の改善に向けた債務支払い回転率の適正化					
																																																				<b>無形固定資産回転率</b> Prv: 31.8 Cur: 48.0	<b>設備計画 (R&amp;D・生産)</b>	<b>経営企画 総務・生産・開発</b>	・投資回収効果最適化	・投資収益回収期間の妥当性分析による開発及びR&D投資、優先判断の実行

※KPI算定の前提  
 Prv : 2021/3期 Q3実績値  
 Cur : 2022/3期 Q3実績値

# 2022年3月期 通期業績予想

12月10日 公表値から変更なし

## 建機用フィルタ事業

- 日本、北米、欧州各国における、主要得意先各社の生産活動は安定して新車需要の継続と稼働時間の大幅な増加により、当社製品への需要は高い水準で推移する見込み
- 世界的な輸送ロジスティクスの混乱による海上輸送費や航空運賃といった物流コストの高騰や、原材料価格高騰の影響に伴う製造原価の増加を折り込むものの、需要増加や原価低減効果も見込まれる

## エアフィルタ事業

- テレワークの普及に伴うオフィスビルの稼働率の低下に伴うフィルタ交換需要の減少による減収
- セールスマックス等の影響による減益が見込まれる

## ヘルスケア事業

- マスク市場においては海外製廉価品への需要推移が顕著となり、当社の高機能マスクの需要は大幅な減少を見込み、収益性の大幅な悪化が見込まれ、利益改善に向けた抜本的な事業構造改革を断行

		2021/3期 実績	2022/3期 期初予想	2022/3期 修正予想	期初予想比差異
		金額 (百万円)	金額 (百万円)	金額 (百万円)	増減額 (百万円)
売上高		14,587	16,600	19,130	2,530
	建機用フィルタ※	10,970	12,000	16,000	4,000
	エアフィルタ	2,607	3,000	2,500	△500
	ヘルスケア	1,009	1,600	630	△970
営業利益		△145	1,500	1,950	450
	建機用フィルタ※	1,289	2,307	3,750	1,407
	エアフィルタ	123	400	35	△365
	ヘルスケア	△150	240	△310	△550
	全社費用	△1,408	△1,447	△1,490	△42
<b>営業利益率</b>		<b>△1.0%</b>	<b>9.0%</b>	<b>10.2%</b>	<b>1.2Pt</b>
経常利益		△135	1,470	1,920	450
<b>経常利益率</b>		<b>△0.9%</b>	<b>8.9%</b>	<b>10.0%</b>	<b>1.2Pt</b>
当期純利益		750	960	430	△530
<b>当期純利益率</b>		<b>5.1%</b>	<b>5.8%</b>	<b>2.2%</b>	<b>△3.5Pt</b>
為替レート (円)	USD	106.1	105.0	110.0	4.8%
	EUR	123.7	125.0	130.0	4.0%

※「建機用フィルタ」には、建機用フィルタ、産業用フィルタ、プロセス用フィルタを含みます。

	2021/3期 実績		2022/3期 期初予想		2022/3期 修正予想		期初予想比差異	
	金額 (百万円)	構成比	金額 (百万円)	構成比	金額 (百万円)	構成比	増減額 (百万円)	増減率
建機用フィルタ	9,713	66.6%	10,748	64.7%	14,483	75.7%	3,735	34.8%
ライン品	4,178	28.6%	4,690	28.3%	5,837	30.5%	1,147	24.5%
補給品	5,534	37.9%	6,057	36.5%	8,646	45.2%	2,588	42.7%
産業用フィルタ	470	3.2%	464	2.8%	522	2.7%	57	12.5%
プロセス用フィルタ	786	5.4%	787	4.7%	994	5.2%	206	26.2%
建機用フィルタ 合計	10,970	75.2%	12,000	72.3%	16,000	83.6%	4,000	33.3%
エアフィルタ	2,607	17.9%	3,000	18.1%	2,500	13.1%	△500	△16.7%
ヘルスケア	1,009	6.9%	1,600	9.6%	630	3.3%	△970	△60.6%
売上高合計	14,587	100.0%	16,600	100.0%	19,130	100.0%	2,530	15.2%



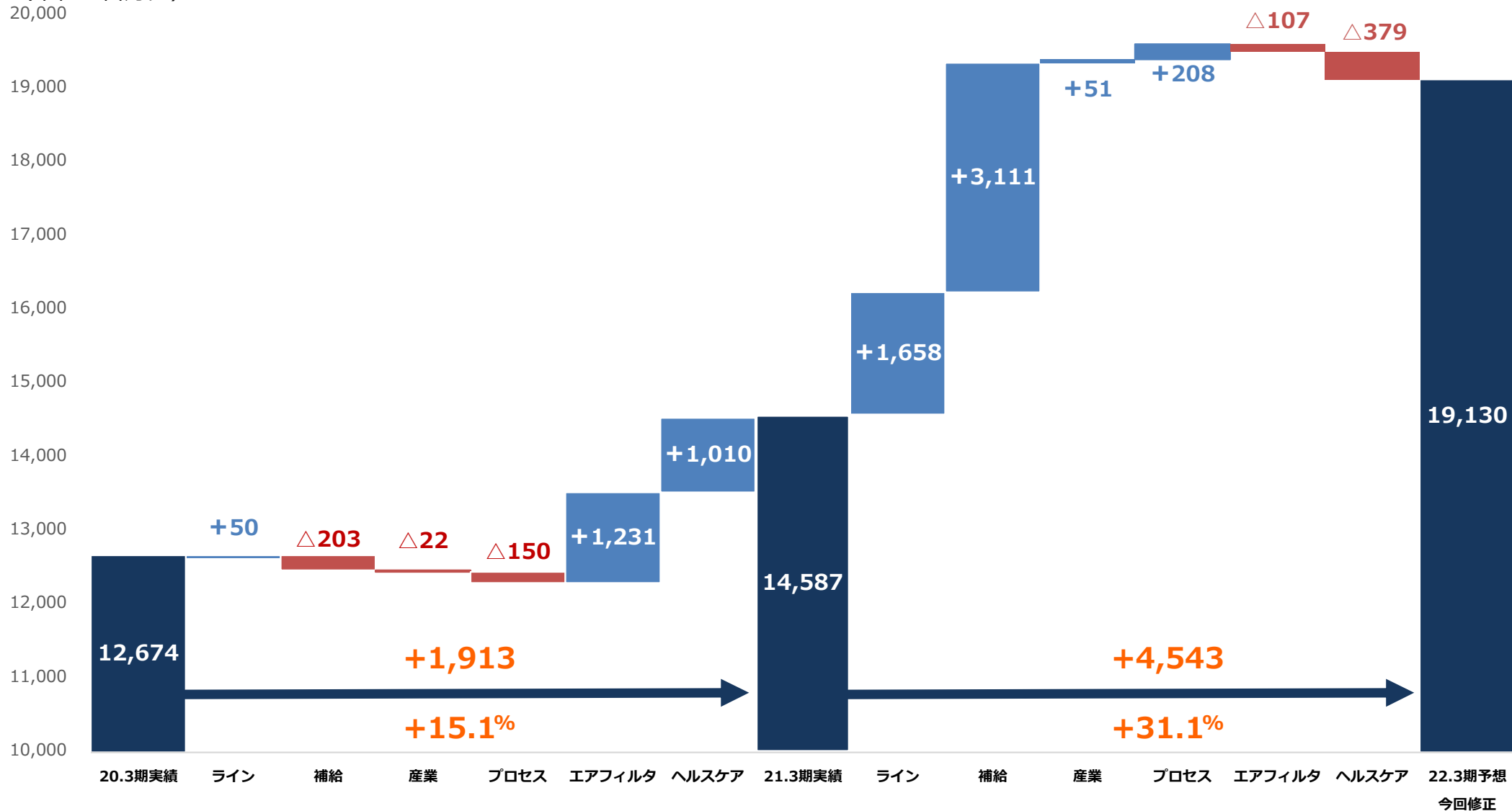
	2021/3期 実績		2022/3期 期初予想		2022/3期 修正予想		期初予想比差異	
	金額 (百万円)	構成比	金額 (百万円)	構成比	金額 (百万円)	構成比	増減額 (百万円)	増減率
<b>建機用フィルタ*</b>	10,970	75.2%	12,000	72.3%	16,000	83.6%	4,000	33.3%
国内	5,019	34.4%	5,437	32.8%	7,697	40.2%	2,260	41.6%
北米	1,915	13.1%	2,226	13.4%	2,976	15.6%	749	33.7%
中国	1,552	10.6%	1,727	10.4%	2,008	10.5%	280	16.3%
アジア	1,235	8.5%	1,311	7.9%	1,795	9.4%	484	36.9%
欧州	1,243	8.5%	1,296	7.8%	1,467	7.7%	171	13.2%
その他（中東他）	3	0.0%	0	0.0%	53	0.3%	53	-
<b>エアフィルタ（国内）</b>	2,607	17.9%	3,000	18.1%	2,500	13.1%	△500	△16.7%
<b>ヘルスケア（国内）</b>	1,009	6.9%	1,600	9.6%	630	3.3%	△970	△60.6%
<b>売上高合計</b>	14,587	100.0%	16,600	100.0%	19,130	100.0%	2,530	15.2%

※「建機用フィルタ」には、建機用フィルタ、産業用フィルタ、プロセス用フィルタを含みます。

\* 当社は請求書送付先基準のため、実際の地域別市場動向と差異が出ます。

# 売上高の増減要因 (2022.3期見通し)

(単位：百万円)  
20,000

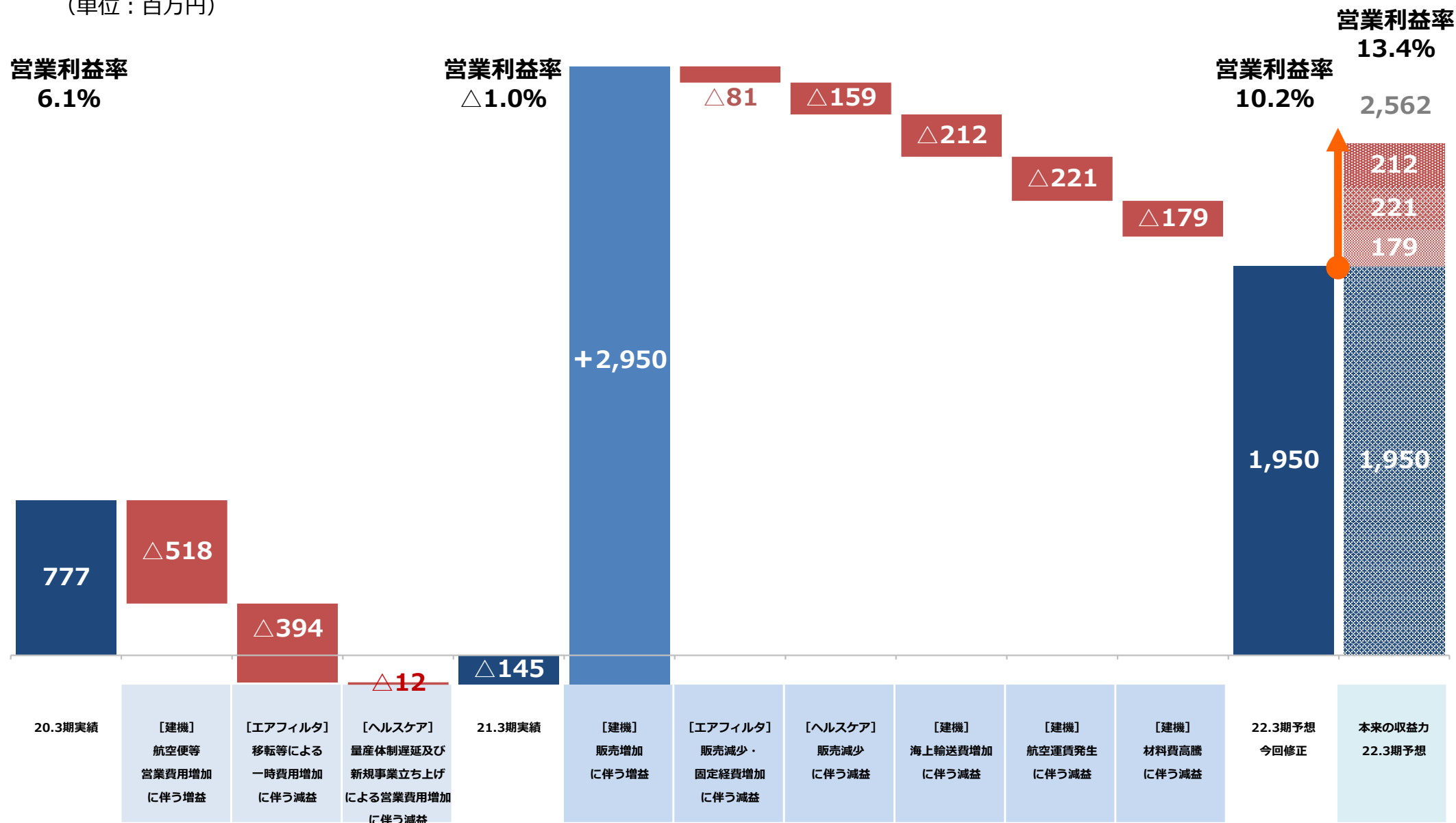


建機用  
フィルタ

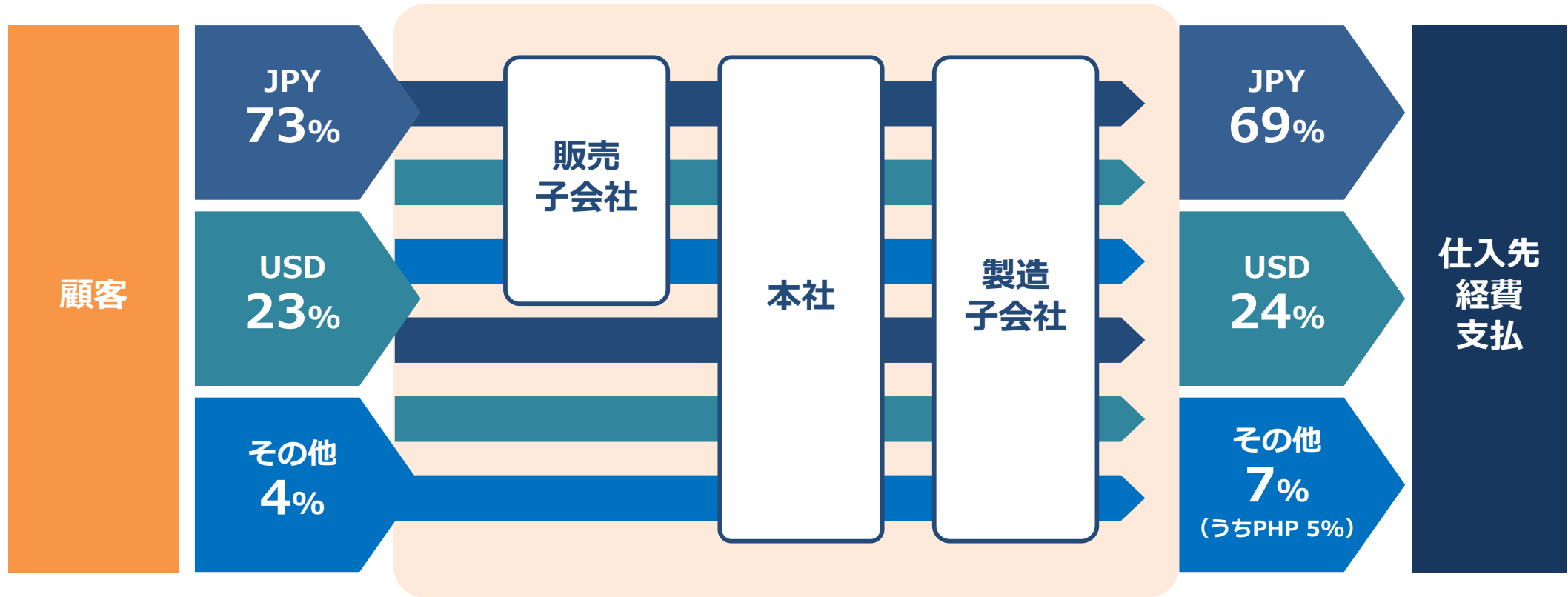
建機用  
フィルタ

# 営業利益の増減要因 (2022.3期見通し)

(単位：百万円)



為替は完全マリーが継続している。



取引通貨の8割はJPY

USDは為替マリーを実現

- 為替が1円円高になった場合の営業利益影響額は約11百万円増益

中間配当3.0円、期末配当3.0円の年間6.0円

	19年3期	20年3月期	21年3月期	22年3月期 予想
1株当たり 年間配当金	6.0円	6.0円	6.0円	6.0円
DOE <sup>※1</sup>	2.4%	2.3%	2.2%	4.8%
総還元性向 <sup>※2</sup>	31.9%	72.3%	59.3%	137.3%

※1 DOE（株主資本配当率）＝（年間配当総額÷株主資本）×100＝（ROE×配当性向）

※2 総還元性向＝{(配当金総額＋株主優待＋自己株式取得)÷親会社株主に帰属する当期純利益}×100



# 思

## Ⅱ 市場を取り巻く環境

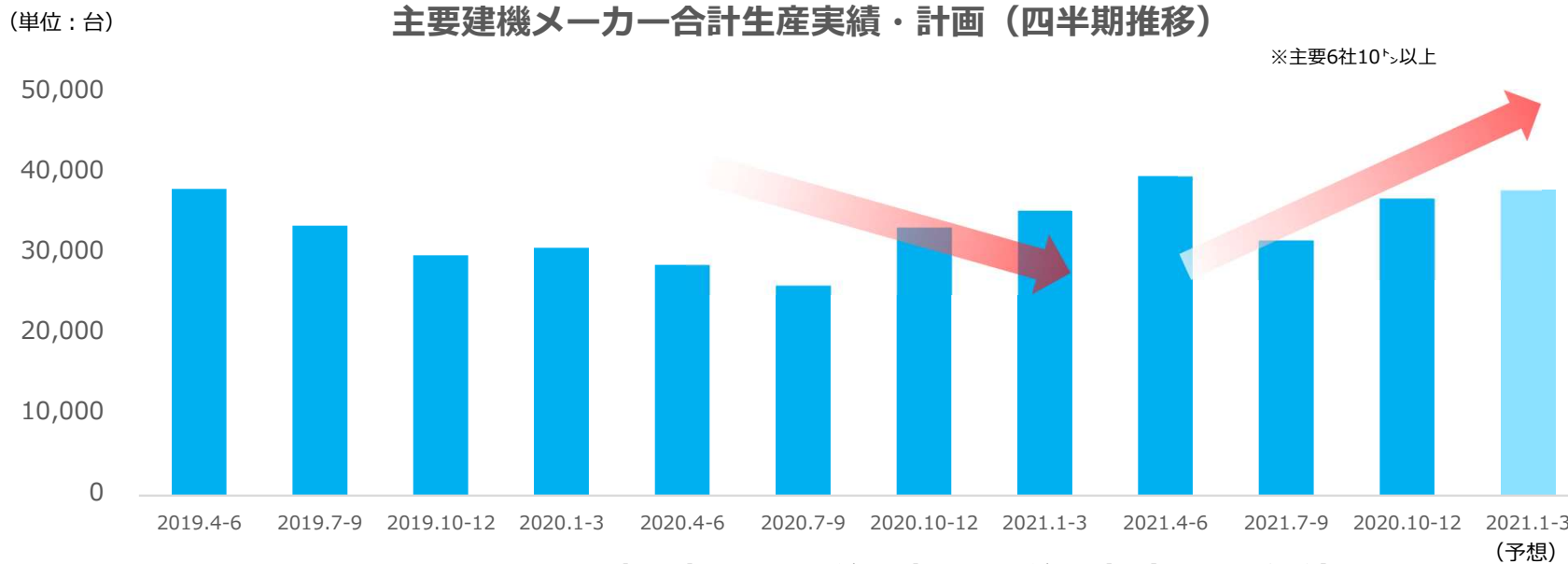
**“建機市場を取り巻く環境”**



- 各種資源価格は高水準で推移しており、今後も良好な事業環境が継続する見込み
- 唯一、中国市場は建設・不動産投資の抑制により減速感が強まる

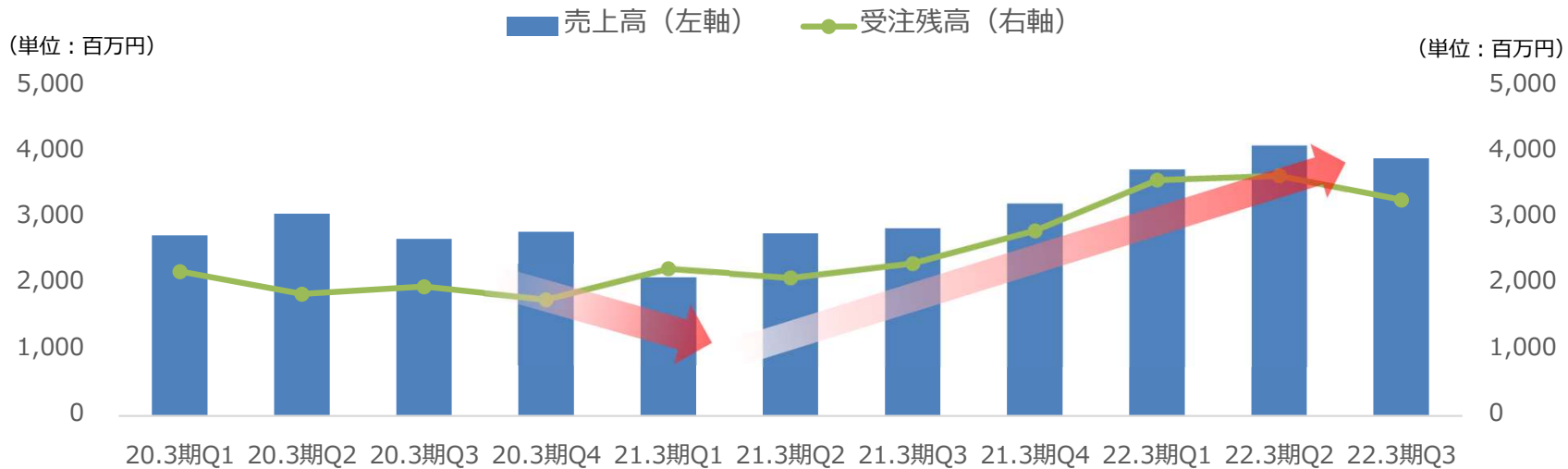
	2021/3 Q4	2022/3 Q3	今後の見通し
日本	COVID-19感染拡大の影響が少なかった公共工事を中心に建機の需要は堅調に推移	COVID-19の影響が残るものの、建機の稼働時間の顕著な増加と新車需要が急激に回復	COVID-19の影響も小さく需要は堅調に推移を見込む
北米	主要得意先各社の生産活動は再開され需要は増加、COVID-19感染拡大前の水準に戻りつつある	COVID-19の政府施策により回復、建機の稼働時間新車販売台数が伸長	成長率は21年より低下するものの、住宅着工件数の雇用・所得環境の改善に支えられ堅調に推移
欧州	COVID-19感染拡大前の影響から回復基調	建機の新車需要、レンタル需要共に建機の需要は増加	主要国を中心に堅調に推移、経済対策が奏功し、需要が拡大を見込む
東南アジア	主要得意先各社の生産活動は再開、建機稼働時間も底打ち感があり通常オペレーションへ回復基調	COVID-19からの回復が鮮明になり建機稼働時間が増加、通常オペレーションへ回復	COVID-19によるリスクは残るものの、経済活動の再開に伴い建機需要は堅調
中国	経済活動の本格的な再開に伴い、産業補助金拡大による政府主導の投資促進策や消費刺激策の効果に伴い新車需要が大幅に増加	新車販売台数は依然として高水準に推移しているものの、下期に入り需要減速傾向	政府の景気抑制・環境対策規制もあり、今後は低調な推移を見込む

● 好調なマクロ環境を受けて、建機需要も順調に伸長



需要増を受け  
生産計画は  
順調に増加

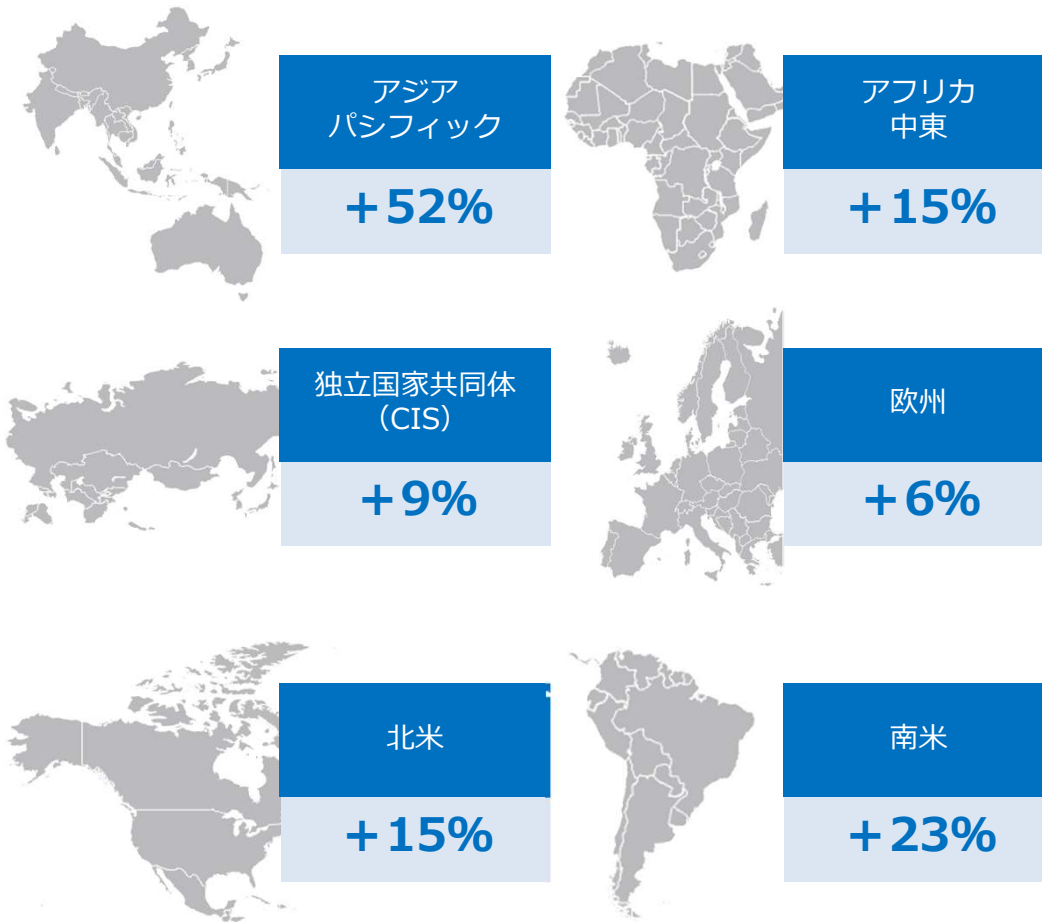
### 当社の建機用フィルタ売上高と確定受注残高内示受注残高（四半期推移）



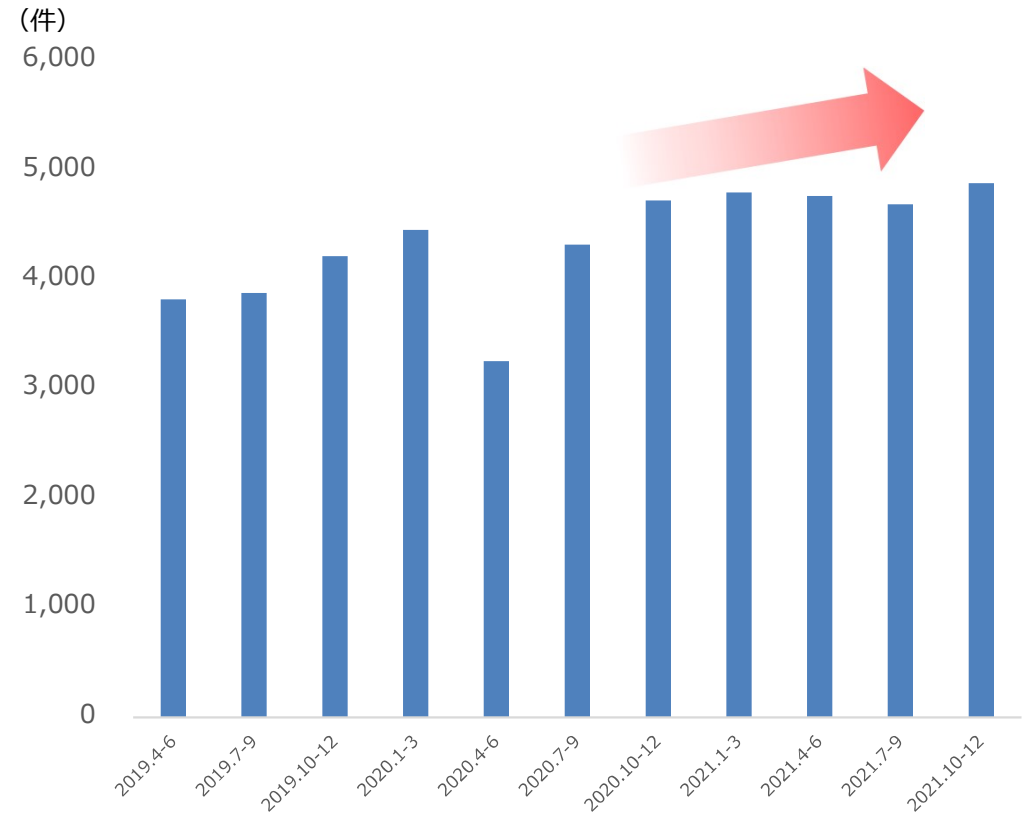
ロジスティックの  
遅延影響は  
あるものの  
受注残高は  
高水準で推移

- 良好な事業環境を受けて各社在庫水準を引き上げており、来期以降も堅調と予想
- リモートワーク浸透を背景に、北米の住宅着工件数は高い水準で推移

## 地域別 建機需要の動向（指数）



## 北米市場 住宅着工件数の推移



(Bureau of the Censusより当社作成)

- 北米主要顧客のシェアは順調に伸長
- 新分野である貨物鉄道向けの導入は、各種製品で実機試験段階に到達

## 北米大手建機メーカー様のシェア情報

### ■油圧フィルタシェア

	2021	2022	増減
車両建機	39%	43%	4%
鉱山建機	20%	27%	7%
林業機械	30%	42%	12%

### ■TMフィルタシェア

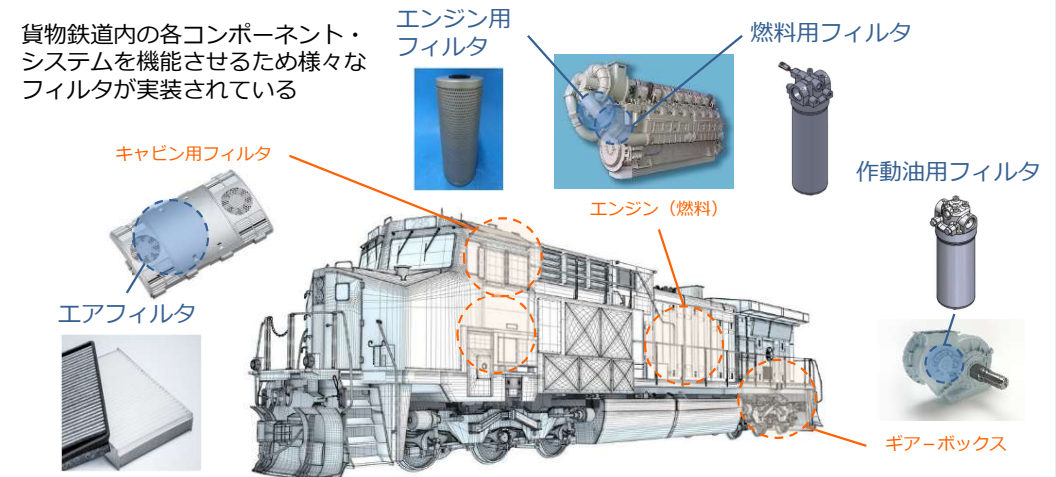
	2021	2021	増減
車両建機	88%	90%	2%
鉱山建機	54%	56%	2%
林業機械	71%	74%	3%

### ■その他フィルタシェア

	2021	2021	増減
車両建機	17%	28%	11%
鉱山建機	12%	19%	7%
林業機械	15%	18%	3%

## 新規分野開拓の進捗

### 貨物鉄道のフィルタ採用機会は多数存在



### 建機分野で培ったノウハウを応用

各種オイル用  
フィルタ

エアフィルタ

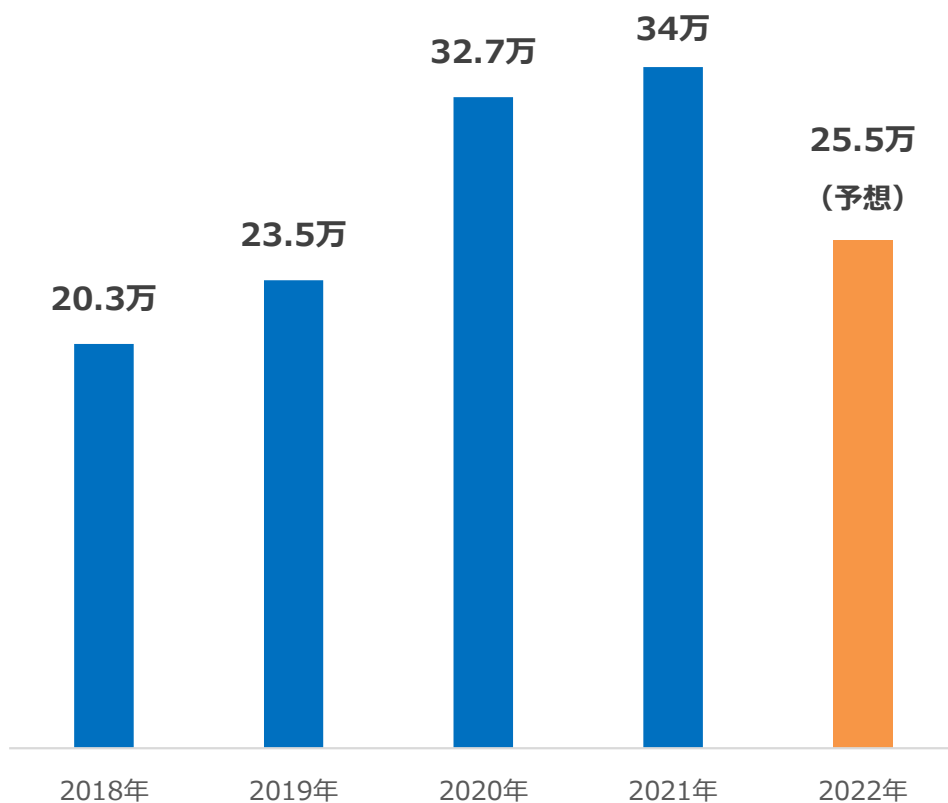
燃料用フィルタ

それぞれで建機等の産業分野で培ったノウハウを駆使して採用活動を展開中。今年の実機試験のフェーズに順調に進捗。

- コロナ鎮静後の需要回復で年間販売台数は34万台到達するが、足元は販売台数鈍化
- 22年の販売台数は価格競争の熾烈な小型機を中心に減少する見通し

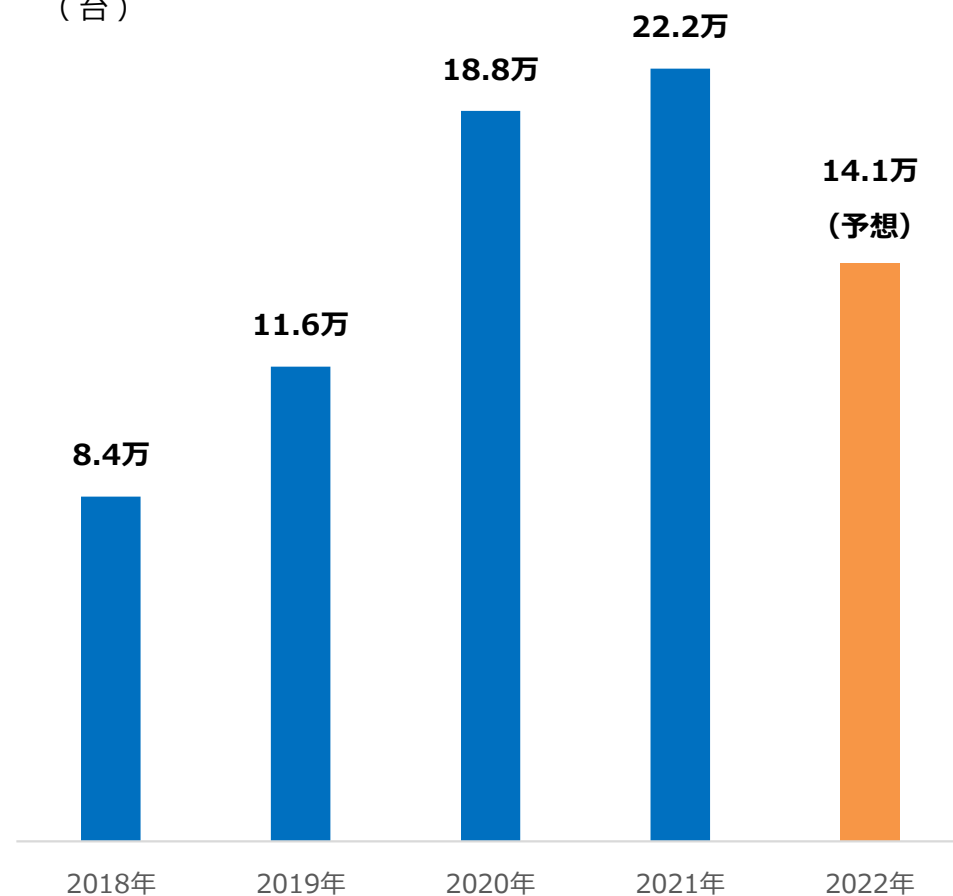
## 年間販売台数推移

(台)



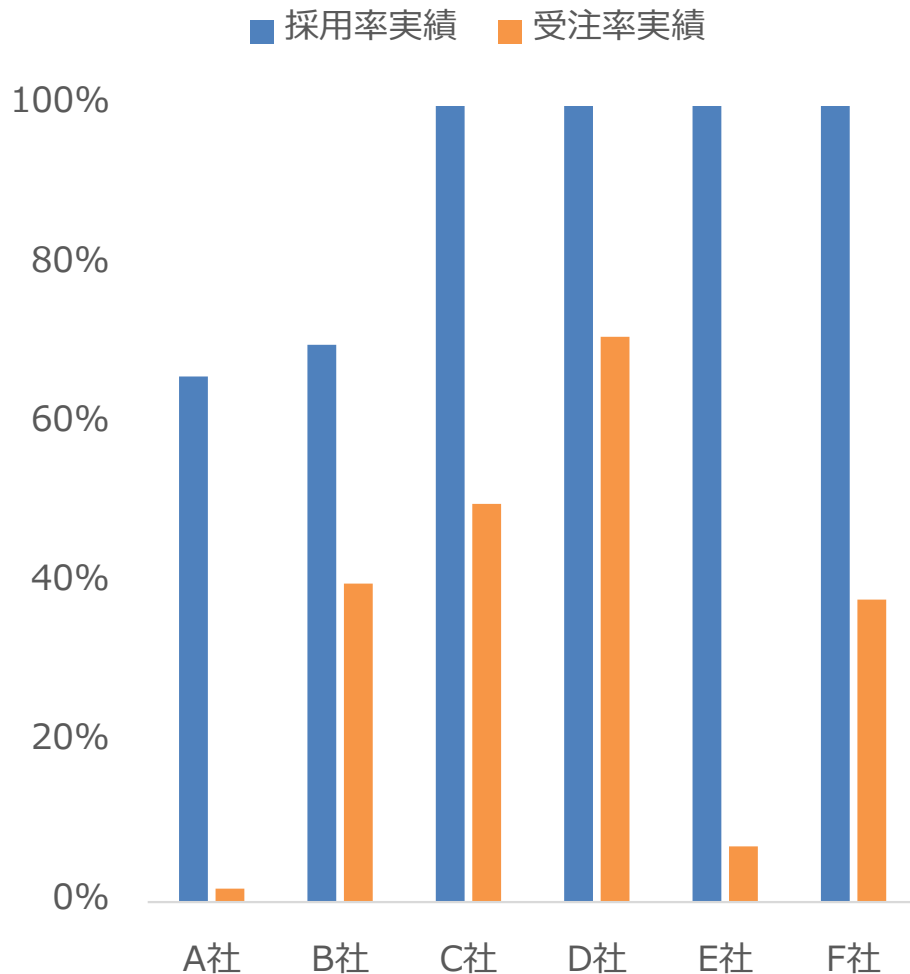
## 主要中国建機メーカー3社生産台数（計画）

(台)



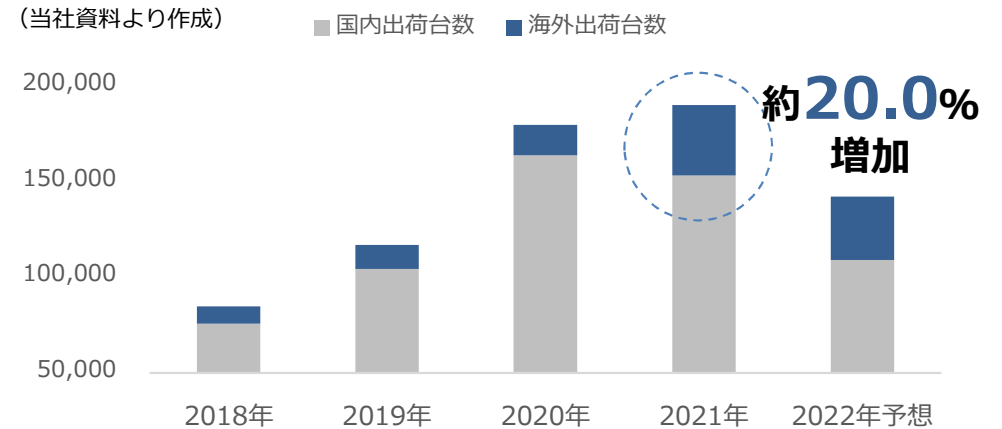
- 成長機会を求める中国建機メーカーの海外市場進出はアジアを中心に進む
- 当社グローバルネットワークを活用して、中国フィルタメーカーとの差別化を訴求する

## 現行機種採用率・受注率

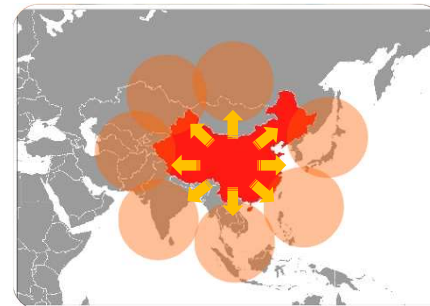


## 海外市場進出が進む 中国メーカーへの対応

### 主要3社の海外輸出比率の推移



### 当社グローバルネットワークで拡販を最大支援



成長機会を海外市場に求める中国建機メーカーを、当社のグローバルネットワークで最大支援。現地取引・補給品拡販支援など、中国ローカルフィルタメーカーと異なる支援体制で差別化を訴求する。



- フィルタ専門メーカーの知見とトップシェアを最大限活用したナレッジ蓄積
- これまでアナログ対応だった差別化要素をデジタル化して更に競争力を強化

## センサー活用で獲得できるデジタル情報

センサーから送られるデジタルデータを活用し、最適なソリューションを提供。



### SWIFTROCK®

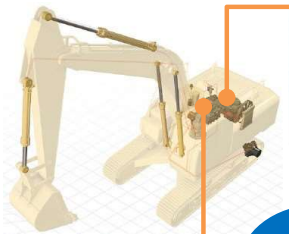


【特徴的な機能】

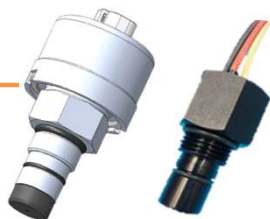
- オイル汚染度の監視
- 単品で機能完結

【達成できること】

- 異常の早期発見  
→ **修理代の最小化**



### FILTER SAVER®



【特徴的な機能】

- フィルタ寿命予知
- 純正率の見える化

【達成できること】

- 需要の可視化  
→ **戦略的な在庫計画**

## 当社が目指すDXのあるべき姿

各地域の使用データを集約、データに基づきユーザ・メーカーの特性にあわせた戦略を立案。



**グローバルな情報集積企業の地位確立**



# “エアフィルタ市場を取り巻く環境”

- 空気の品質に関心が高まり、総合フィルタメーカーとしての強みを活かせる外部環境
- 差別化された高付加価値技術で、ユーザーコストに競争力がある環境配慮型製品を供給

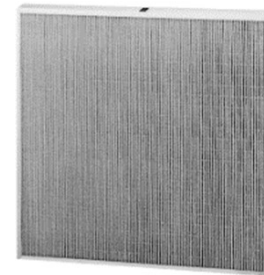
# NanoWHELP®



・ MERV14・15・16を取得済

## 世界初ナノファイバー製エアフィルタ

低圧損で高捕集率のナノファイバー製中性能のエアフィルタ。オフィスビル、工場、鉄道車両、家電等への供給を強化



### HEPA、ULPAフィルタ開発

低圧損で高捕集率、低コストのHEPA、ULPAフィルタ。オフィス/学校/病院/路面店などへ積極展開。

## 溶菌酵素フィルタ



抗ウイルス用フィルタとして特化

### NanoWHELP®・溶菌酵素フィルタが社会に提供できる価値

#### 社会への貢献

健康リスク軽減

温室効果ガス削減

省資源  
(ロングライフ)

#### ユーザーへの貢献

ユーザーコストの低減

#### 企業責任への貢献

SUSTAINABLE  
DEVELOPMENT  
GOALS



- COVID-19の影響から縮小した市場で緩やかな回復基調がみられる
- 需要増加が見込まれる半導体・車両市場に注力する一方で、新分野開拓も進める

	市場概要	市場環境	
		前期	今期見通し
ビル・建物	オフィス・商業ビル等に設置されている外気取入れユニット・屋内空調等のエアフィルタ	都市部の大型案件を中心に需要は回復基調。新規案件は低調	ビル市場は4Qへ向け落ち着きを取り戻し、リピート物件は手堅く受注。
一般工場	工場に設置されている外気取入れユニット・屋内空調等のエアフィルタ	前期と傾向は継続する予想。	生産状況は回復基調に見えるが設備投資はやや遅れ気味。
半導体工場	ケミカルフィルタの交換市場	引き続き設備投資が好調	引き続き設備投資が好調
環境機器	一般家庭で使われる住宅空調・空気清浄機のエアフィルタ	住宅資材の流通減により、着工件数が下降トレンド、需要自体はある。	ウッドショックの余波は続くも、4Qで回復基調になる予測。
車両	鉄道等の空調用エアフィルタ 建機の粉塵用エアフィルタ	公共交通機関の交換需要が伸びていないが、需要の高まっている建機がカバー	建機は好調をキープする。鉄道は前年より減少も予定通りの推移。

- ロングライフで低圧損を実現した環境負荷低減のための究極のエアフィルタ
- 回復基調のビル建物でホテル・公共施設への採用が着実に進捗

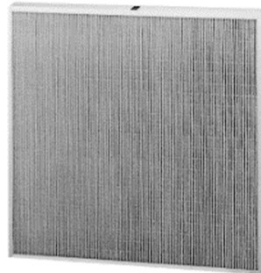
## NanoWHELP®

世界初のナノフィルタ製  
エアフィルタ



**MERV14**  
(米国規格)

ビル空調では最高レベルのMERV13を超える、MERV14を認定取得。日本メーカーの中高性能フィルタの中でMERV14の認定を取得しているのは、「NanoWHELP」だけです。

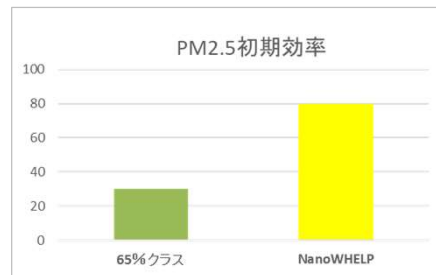


### 製品特徴

- ヤマシナノフィルタ®の性能を活かし、**持続的な低圧損を実現**
- 日本メーカーの中高性能フィルタで唯一ビル空調最高レベル、**MERV14・15・16を取得済**

**PM2.5の捕集効率96%**  
**初期効率80%以上**

- 圧倒的なフィルタ性能
- 交換インターが長くコスト減
- 価格競争力



### 想定市場

データセンターやサーバー室・IT化された工場・公共施設・医療施設など

### 導入状況

#### 都心高層ホテル



東京駅すぐ。シャングリラホテルフォーシーズンズホテルで採用

ホテル群の設備投資は低調に推移していたが、徐々に回復のきざしをみせつつあり、導入が決定。

#### 都内庁舎

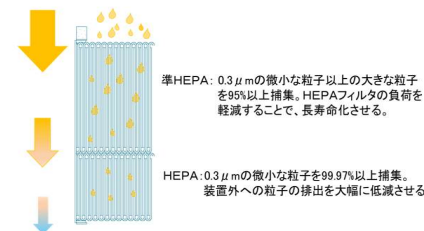


都内の庁舎で導入が決定。空調設備刷新のタイミングにおける営業活動が奏功。

### ミストコレクタ搭載フィルタ



【準HEPAとHEPAを組み合わせた2層構造】



工作機械メーカーが新開発したミストコレクタへの搭載が決定。量産は2022年度の開始を見込む。

- COVID-19からのリバウンド需要が見込まれるサービス業を中心に導入が進む
- エンドユーザーに直接営業・共同検証を通じて、差別化要素を積極的に訴求

## 新製品 溶菌酵素フィルタ



### 製品特徴

- 抗ウィルス用フィルタとして特化、独自製法で性能低下なし。
- 酵素がカビ・微生物のタンパク皮膜（細胞壁など）を破壊、2次汚染リスクを解消

#### ウィルス対策として幅広い市場に投入可能

- 薬剤塗布と異なる独自製法のため、性能低下がない
- 天然物質を使用しているため、基準が厳しい食品工場などでも展開可能。カビ・微生物に対しても効果を発揮。
- 溶菌酵素で新型ウィルスに代表されるエンベロープ型 ウィルスを不活性化。

### 想定市場

オフィス/学校/病院/路面店舗/工場など

### 導入状況

## 2021年度 新分野 開拓

空気清浄への関心の高まりを受け、新分野の導入が決定。新規開拓に尽力。



### 大手 ネットカフェ

喫煙室、エアコンでの効果が認められ来期導入が決定。



### 回転寿司

大手チェーンで導入。導入試験も実施中。



### 介護施設

健康関心が高く、清掃コストの圧縮に大きなニーズがある。

※現在、大手飲食チェーンなど多数の企業に提案を実施中

# “マスク市場を取り巻く環境”



- 全日本スキー連盟のオフィシャルパートナーとしてオリジナルマスクを関係者に供給
- マスク寄贈を通じて、社是「仕濾過事」を実践して地域社会に貢献

## 全日本スキー連盟のオフィシャルパートナーとして協賛

ヤマシンフィルタはSAJを応援しています



製品イメージ

**Zexeed® (ゼクシード) が、  
公益財団法人全日本スキー連盟様の  
オリジナルマスクに採用**

公益財団法人全日本スキー連盟様では、間もなく開催される北京オリンピックに向けた諸準備を進める中で、徹底した感染症対策に取り組まれています。

その中で、ゼクシード®の高いフィルタ性能とフィット感・密閉性を有し、立体的なフォルムで息のしやすさを確保している点を高く評価していただき、ロゴをあしらったオリジナルデザインのマスクの採用に至りました。

## 「ヤマシン・フィルタマスク®」を寄贈

**COVID-19感染対策支援として  
「ヤマシン・フィルタマスク®」を寄贈**

当社生産工場がある  
佐賀県上峰町に  
「ヤマシン・フィルタマスク®」  
**20万枚**を寄贈



佐賀事業所の従業員の出身校である  
公立高校3校に対し  
「ヤマシン・フィルタマスク®」  
**1万6千枚**を寄贈

新たな研究開発拠点「横須賀イノベーションセンタ」  
を開設した横須賀市  
に対し「ヤマシン・フィルタマスク®」  
**25万枚**を寄贈



# 未来

## Ⅲ 今後の戦略



ろかじにつかふる

仕濾過事

経営理念



顕在する  
様々な社会課題

気候変動

廃棄物処理

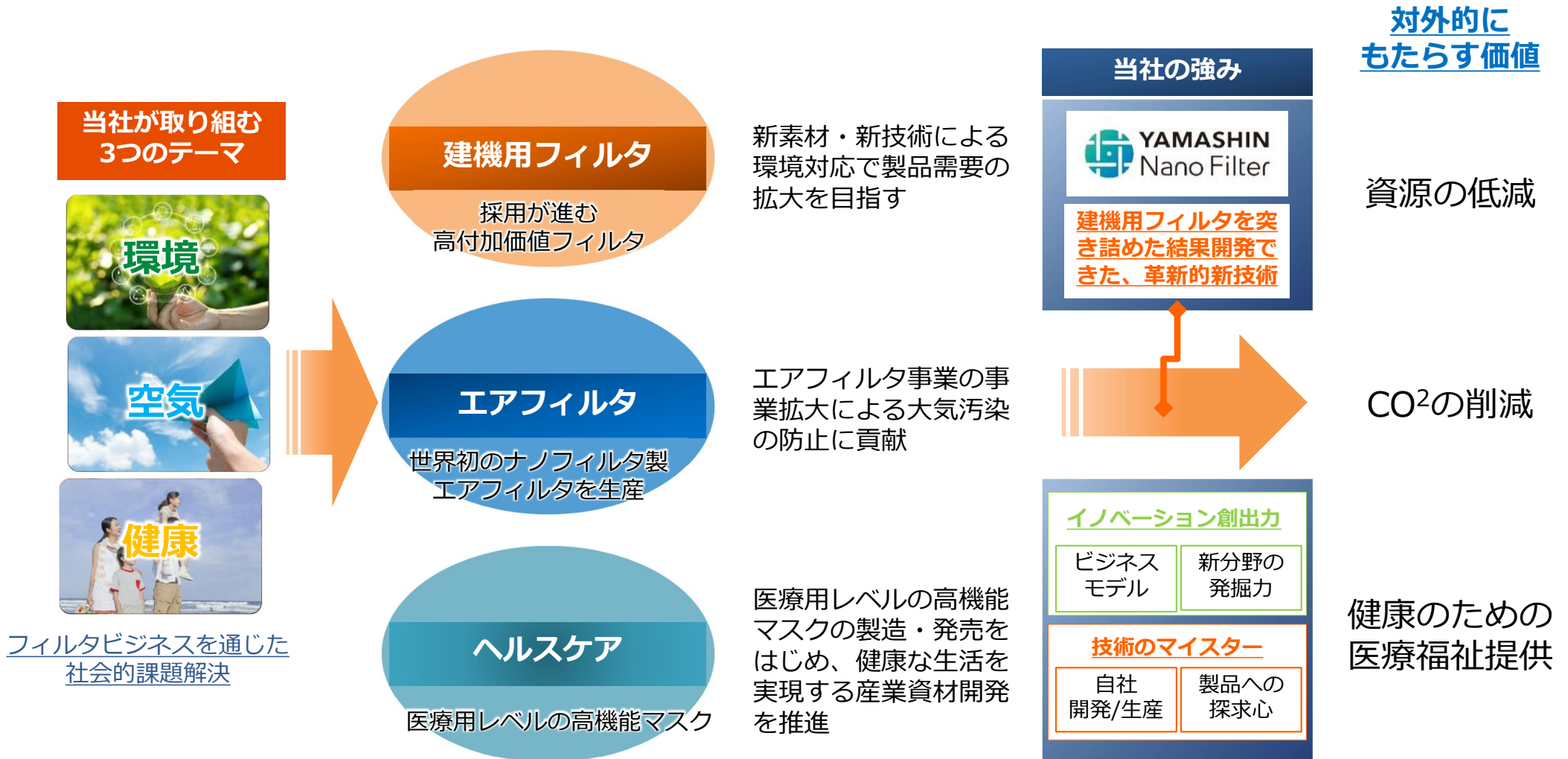
生物多様性の減少

COVID-19の拡大

「仕濾過事」(ろかじにつかふる)を具現化

フィルタビジネスを通じて  
社会課題の解決に取り組む

# 経営理念：「仕濾過事」(ろかじにつかふる)の具現化



## ビジネスモデル・強みをサステナブルの観点から強化する ESGプロジェクト（YSS : Yamashin Sustainable Solutions）が始動

### YSS

名称 : Yamashin Sustainable Solutions

#### （発足時のテーマ）

社会課題解決と事業機会の創出 :

#### （検討の方向性）

・環境・気候変動などの社会課題解決に向けて、ヤマシンが資する技術・製品を活かし、CO2の削減、産業廃棄物低減等に貢献を目指すための施策の検討。

・将来的に定量的なKPIなどの算出。

#### 【重点的製品】

**建機用フィルタ** : ナノフィルタ製リターンフィルタ

**エアフィルタ** : ナノフィルタ製エアフィルタ  
(NanoWhelp®)

**ヘルスケア** : ナノフィルタ製マスク

#### 取り組むべき重点課題

サステナビリティに関する全社方針や目標の策定、それらを実践するための体制の構築・整備の推進。

#### 今期の成果物



ESGへの現在の取り組み状況をまとめた報告書「サステナビリティレポート 2021」を2021年10月に発行



建機用フィルタのヤマシナノフィルタ®への切り替えが  
2024年3月期より順次開始、大幅な増収を見込む。

### ヤマシナノフィルタ®



売上単価は既存製品の  
**約2倍**  
中長期的な収益の柱に成長



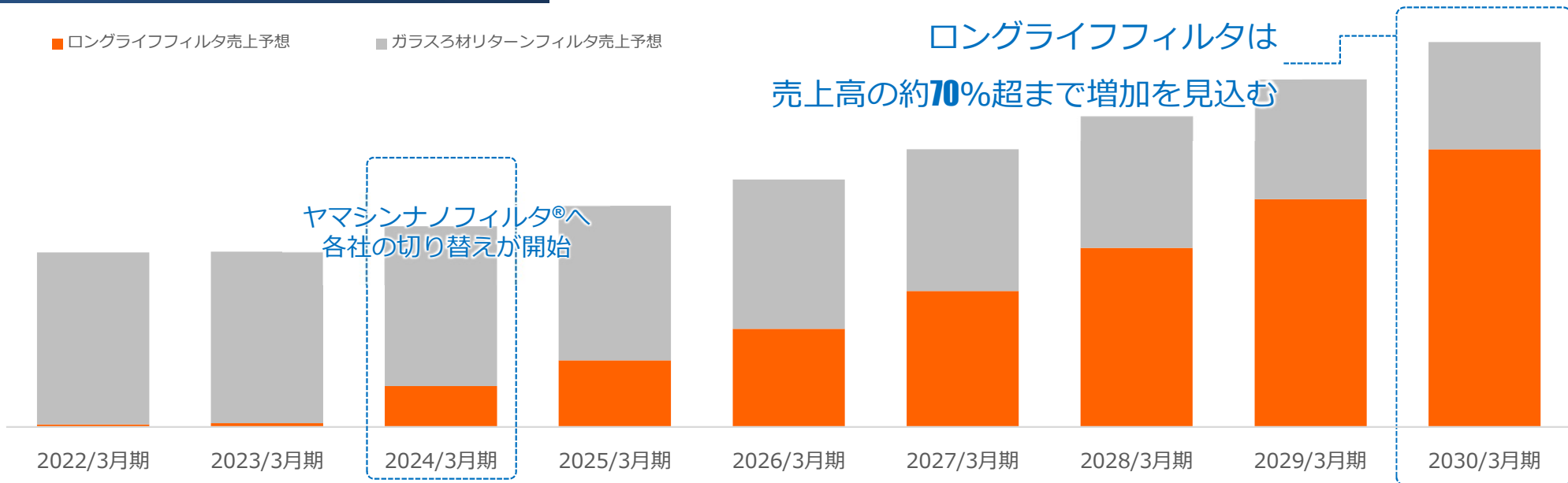

### Iotセンサ

フィルタ寿命や  
作動油の汚染度を  
センサーで測定。  
フィルタの価値を  
一層高める




## ナノフィルタ製のフィルタの売上予想

■ ロングライフフィルタ売上予想    ■ ガラスろ材リターンフィルタ売上予想



ヤマシンナノフィルタ®の性能を活かし、環境配慮型製品を積極的に展開。  
中期的に売上規模50億円を目指す。

## 技術のマイスター

(製品力)

**NanoWHELP®**  
世界初ナノフィルタ製  
エアフィルタ



YAMASHIN  
Nano Filter™

## モノづくりの力

(ケイパビリティ)

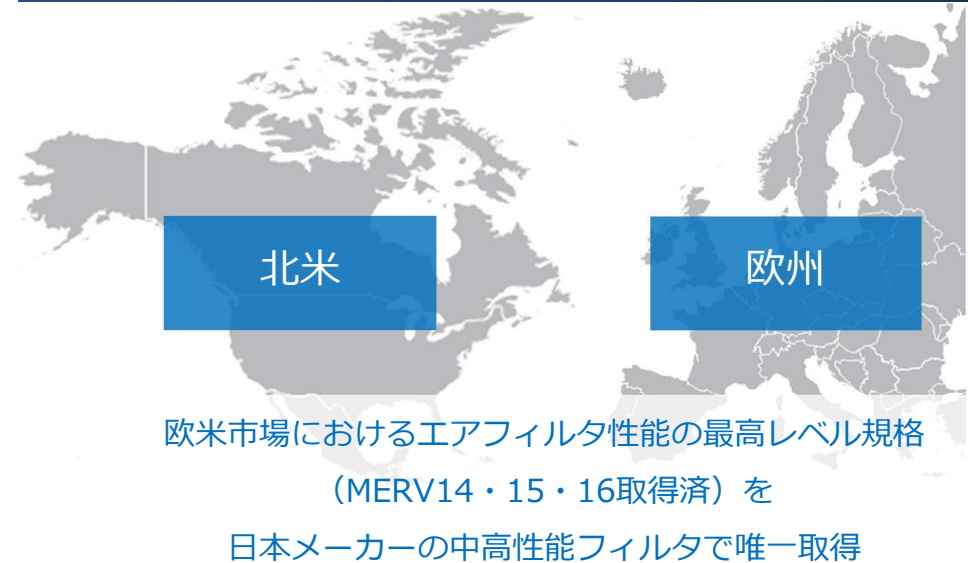
### 社内体制の強化

- ・SAPの導入
- ・人員の最適化
- ・販売網の見直し

社会に提供できる価値



## 今後展開を目指す市場



中期的に売上高  
**50**億円を目指す



## バリューチェーンの向上

バリューチェーンの強化により、  
本来の収益力である

**営業利益率20%を  
中期的に達成を目指す**

## 強化する施策

1

### 建機用フィルタビジネス

PAC21、航空運賃の抑制、固定費削減、経費削減による収益性改善

2

### エアフィルタビジネス

YCF生産移管、SAP導入（原価管理体制強化）による製造原価低減PAC21、固定費削減による収益性改善、不具合低減

3

### ヘルスケアビジネス

マスク生産設備投資による製造ライン自動化、省力化による固定費削減、製造原価低減販売促進費、広告宣伝費等の効率運用

4

### サプライチェーン強化

生産拠点再編（新佐賀工場、ベトナム工場（新設）、北米工場）生産能力大幅増強、製造コスト低減

## サプライチェーンの強化

**開発・生産体制を再編、  
新施設が稼働**

一極集中生産体制から、  
マルチプル生産体制への移行、  
より強固なサプライチェーン体制を構築。

### 開発施設



横須賀イノベーションセンター



分散していた研究開発拠点を集約、新素材の用途開発を加速

### 生産体制



佐賀新工場



ヤマシン・アメリカ・モートン工場

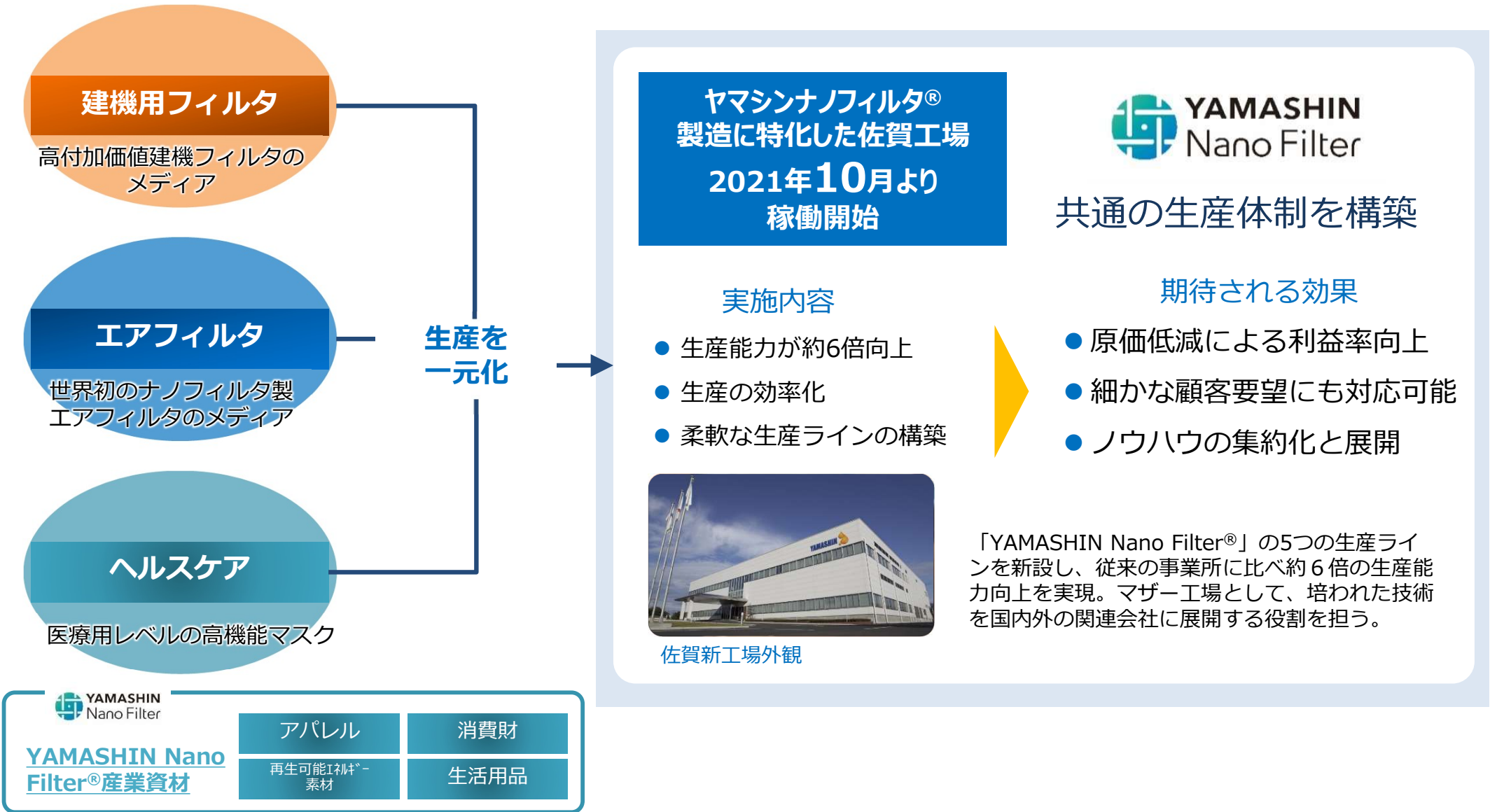


ベトナム新工場



セブ工場

ヤマシナノフィルタ®に適した効率的な生産体制を構築。



建機用フィルタ

YCF (生産)

YST (販売・R&D)

YAI (販売・生産)

YTL (販売)

YEB (販売)

The Specialist in Filtration

**YAMASHIN**



建設機械フィルタの専門メーカーから  
「総合フィルタメーカー」



飛躍を加速



YAMASHIN Nano Filter®産業資材

ヘルスケア

アパレル

消費財

再生可能  
I材料-素材

生活用品



エアフィルタ

(販売・生産)













# 目次

参考資料

① 当社基本情報

当社グループは、フィルタのキーパーツである「ろ材」の主な材料であるガラス繊維や不織布及びフィルタの構成部品に使用される金属加工品や樹脂加工品等の仕入を行い、建機用フィルタ、産業用フィルタ、プロセス用フィルタ、エアフィルタを製造しております。また、当社独自に開発した合成高分子系ナノファイバーを用いたオリジナルマスク及び取替用インナーシートの製造・販売を2020年5月より開始し、2020年7月よりヘルスケア事業を新しい事業セグメントとして加えております。

分野	取扱製品	製品イメージ	売上構成 2022年3月期業績予想
建機用フィルタ	建機の駆動に不可欠である油圧回路の作動油、燃料のディーゼル・オイル、エンジン駆動に必要な潤滑油のろ過に用いられるフィルタ 用途: 様々な種類の建機		
産業用フィルタ	様々な業界に応用されている油圧ユニットの作動油や潤滑油のろ過に用いられるフィルタ 用途: 工作機械、冷凍用圧縮機、農業機械、船舶、鉄道車両、航空機やヘリコプター等の産業機械		
プロセス用フィルタ	顧客製品の製造工程で行われるろ過・分離に必要なフィルタ 用途: 電子部品、精密部品、液晶ディスプレイや食品等の業界		
エアフィルタ	粗塵、中高機能のエアフィルタ 用途: 一般ビル、ホテル、各種工場等の除塵・脱臭等		
ヘルスケア	合成高分子系ナノファイバーの特性である高捕集性能、密閉性、通気性を活かした高機能マスク、取替用インナーシート 用途: 国内外の一般消費者向け		



# 決算

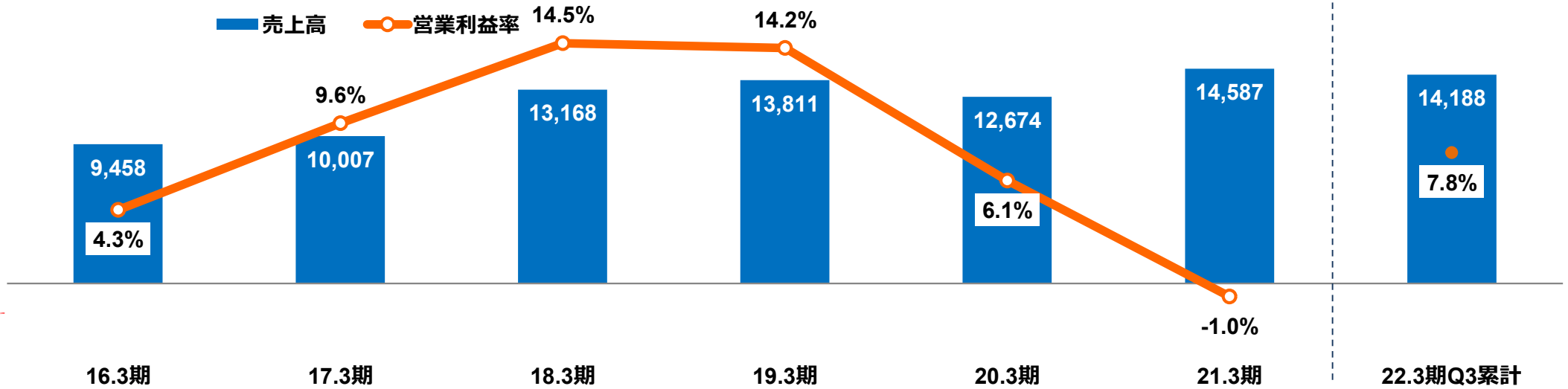
参考資料

②財務ハイライト

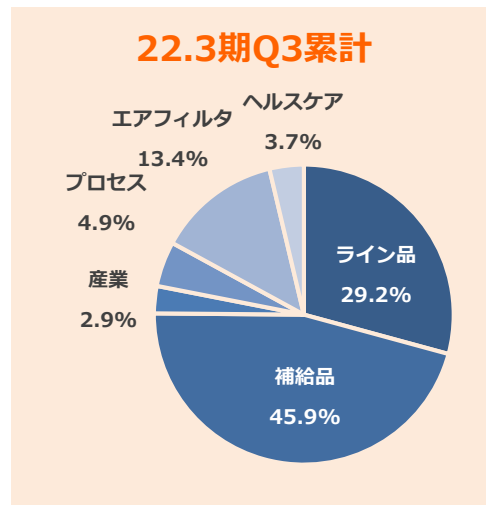
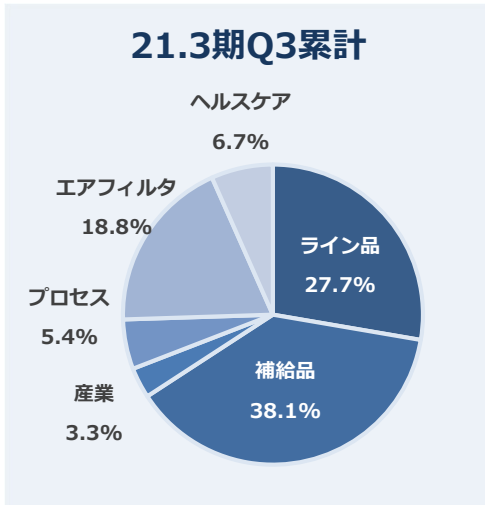


## 売上高・営業利益率推移

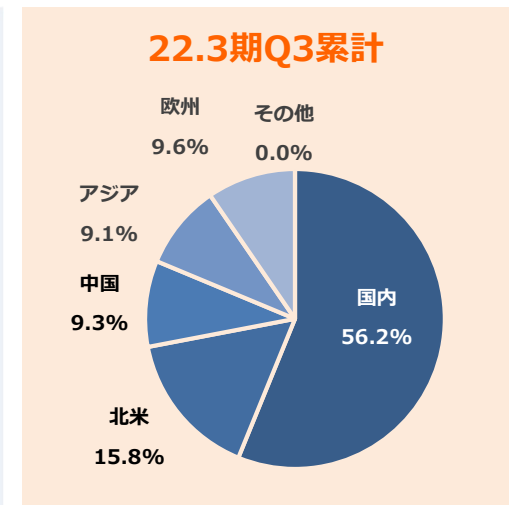
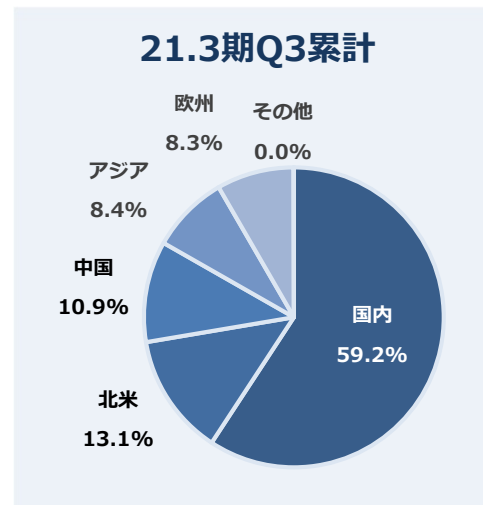
(単位：百万円)



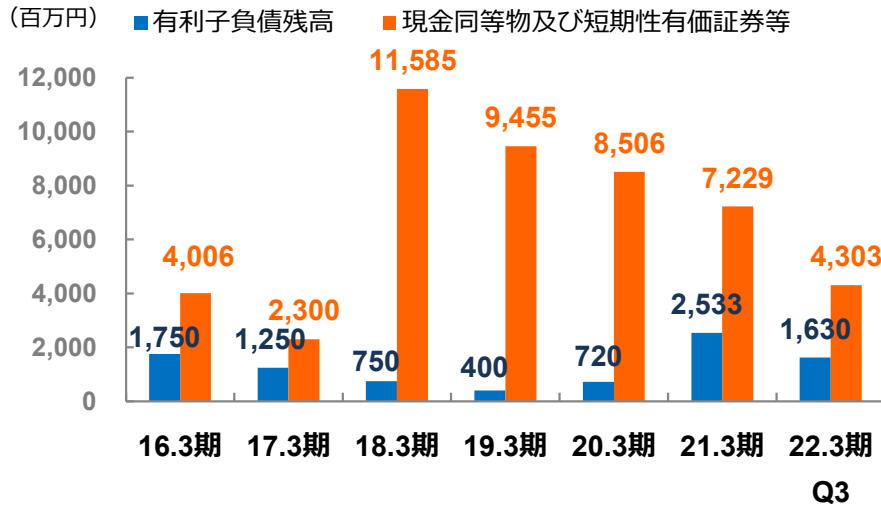
## 製品別売上高



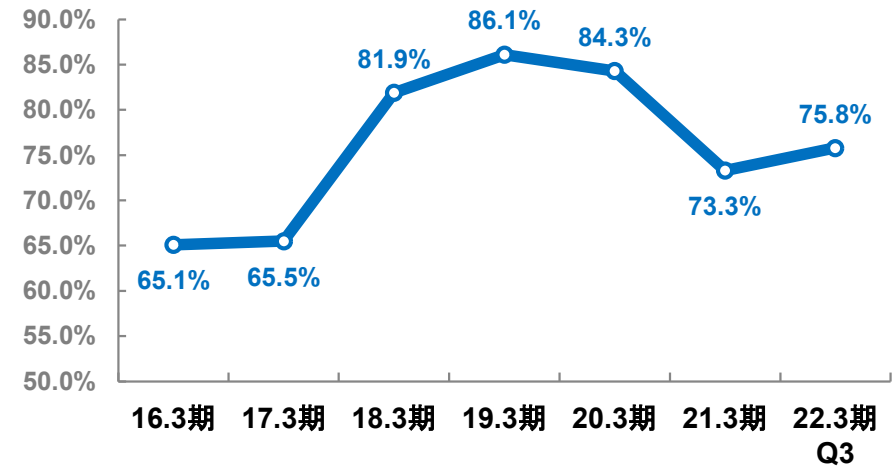
## 地域別売上高



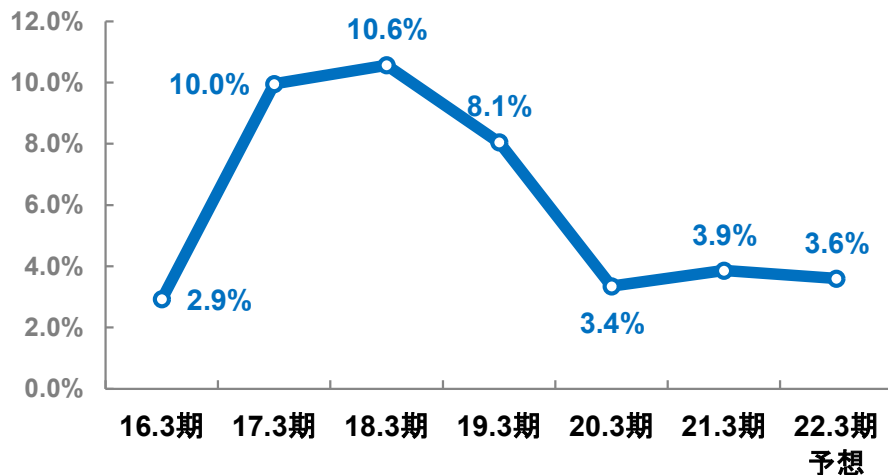
## 有利子負債・現金同等物及び短期性有価証券等残高



## 株主資本比率

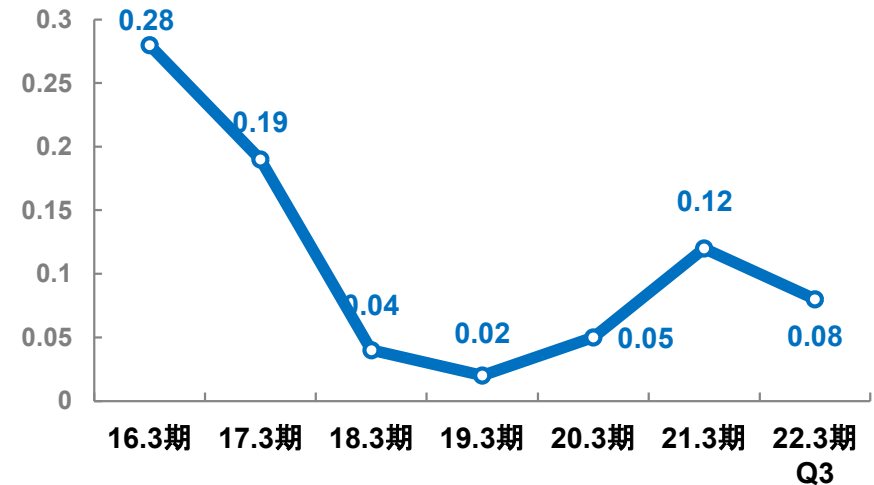


## ROE



※18.3期に行った第三者割当増資を過年度より行ったと仮定して計算しております。

## D/Eレシオ



※18.3期に行った第三者割当増資を過年度より行ったと仮定して計算しております。

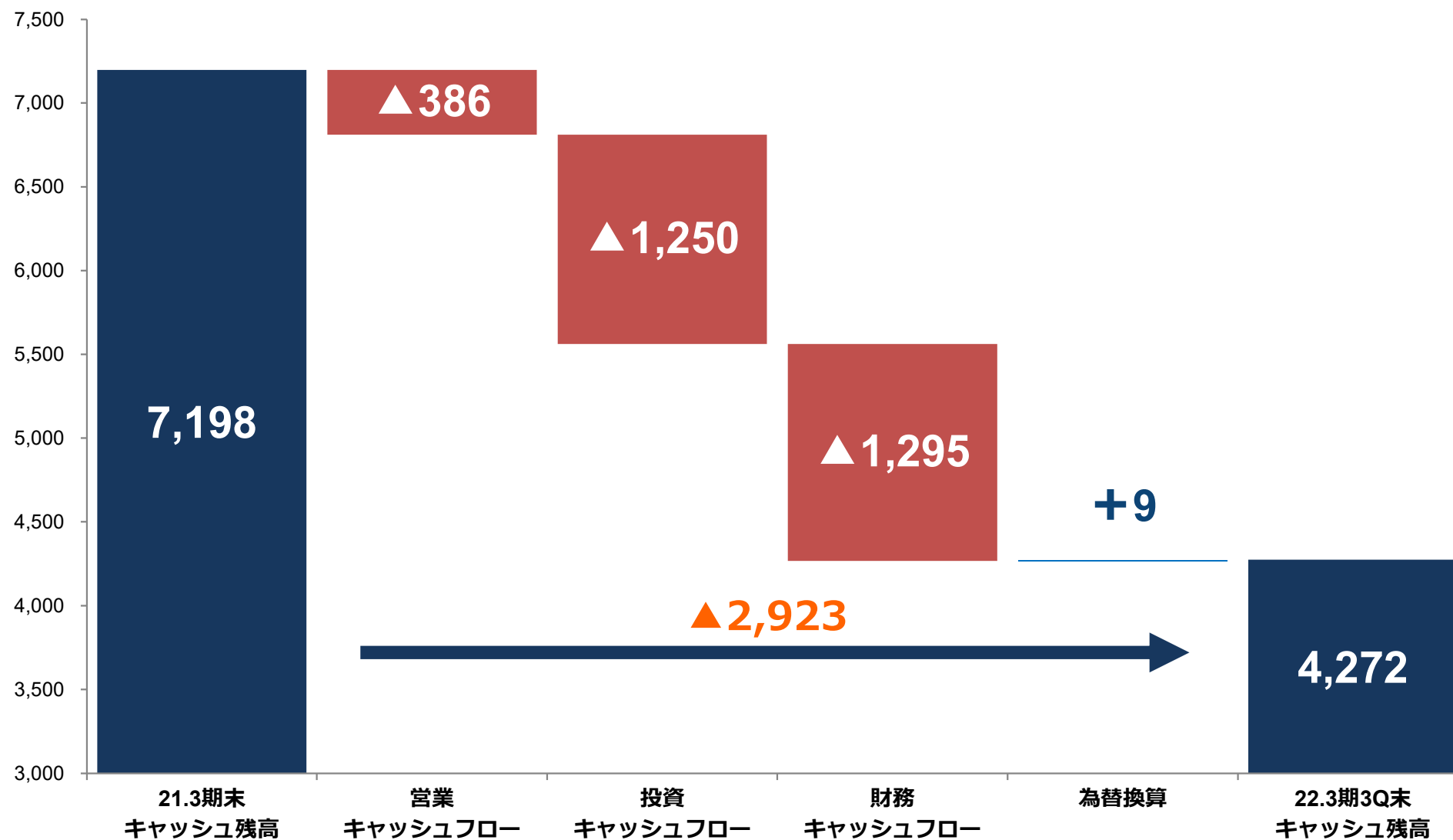
(単位：百万円)

	2021/3期 末	2022/3期 Q3末	増減額	増減率
<b>流動資産</b>	15,323	14,394	△928	△6.1%
現金及び預金	7,229	4,303	△2,925	△40.5%
受取手形及び売掛金	4,285	4,847	561	13.1%
商品・製品& 原材料・貯蔵品	3,021	4,444	1,422	47.1%
その他	785	799	13	1.7%
<b>固定資産</b>	12,868	12,326	△542	△4.2%
有形固定資産	10,813	11,117	303	2.8%
無形固定資産	330	267	△62	△18.9%
投資その他資産	1,724	940	△783	△45.4%
<b>資産合計</b>	28,191	26,720	△1,470	△5.2%

	2021/3期 末	2022/3期 Q3末	増減額	増減率
<b>流動負債</b>	5,539	4,836	△703	△12.7%
支払手形及び買掛金	1,952	3,003	1,050	53.8%
1年以内返済社債・ 短期借入金	1,003	403	△600	△59.8%
その他	2,583	1,429	△1,154	△44.7%
<b>固定負債</b>	1,969	1,622	△346	△17.6%
社債・長期借入金	1,529	1,227	△302	△19.8%
退職給付に係る負債	225	224	△0	△0.2%
その他	214	170	△43	△20.4%
<b>純資産合計</b>	20,682	20,261	△420	△2.0%
<b>負債・純資産合計</b>	28,191	26,720	△1,470	△5.2%

\*自己資本比率                      73.3%                      75.8%

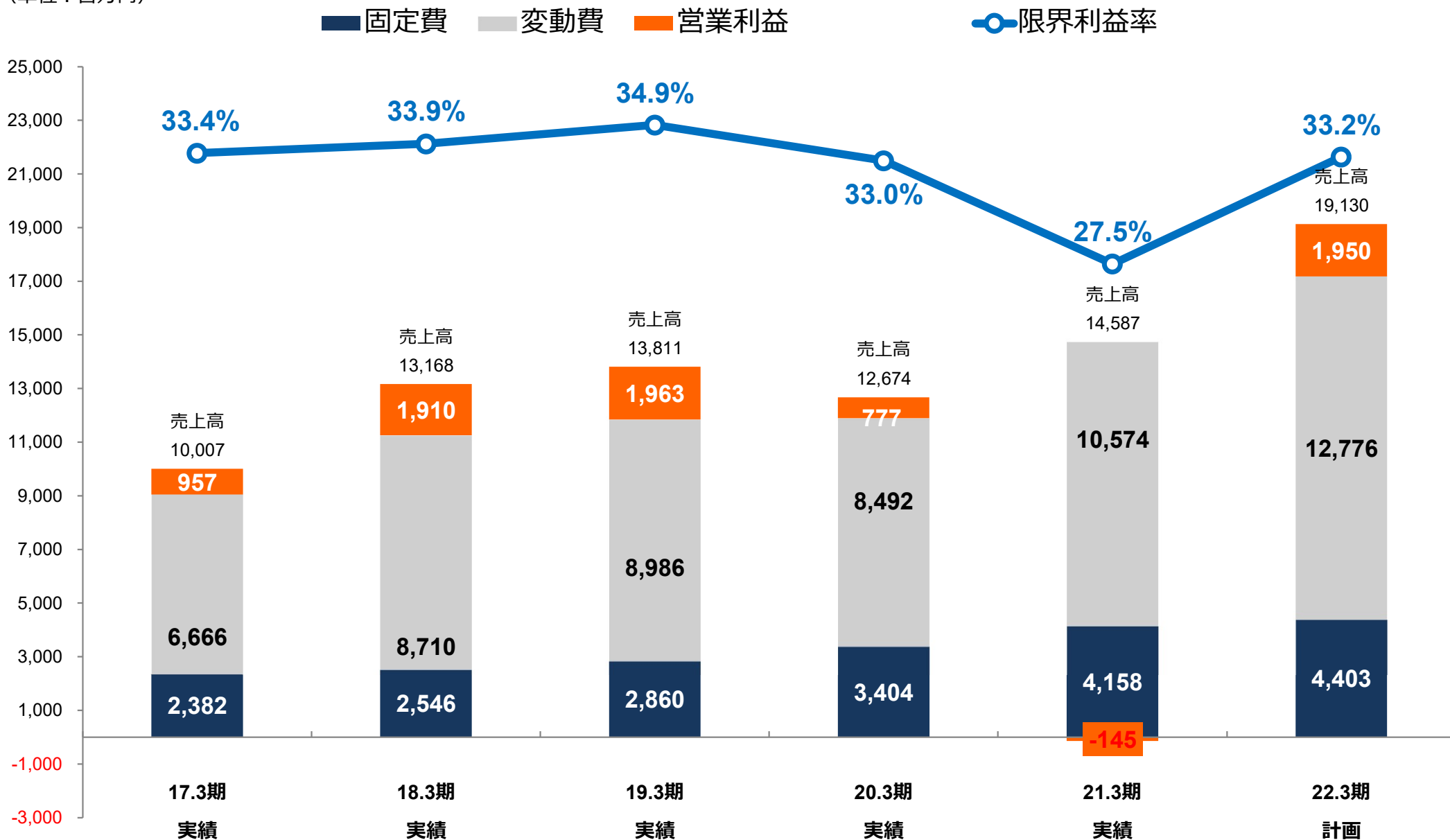
(単位：百万円)



(単位：百万円)

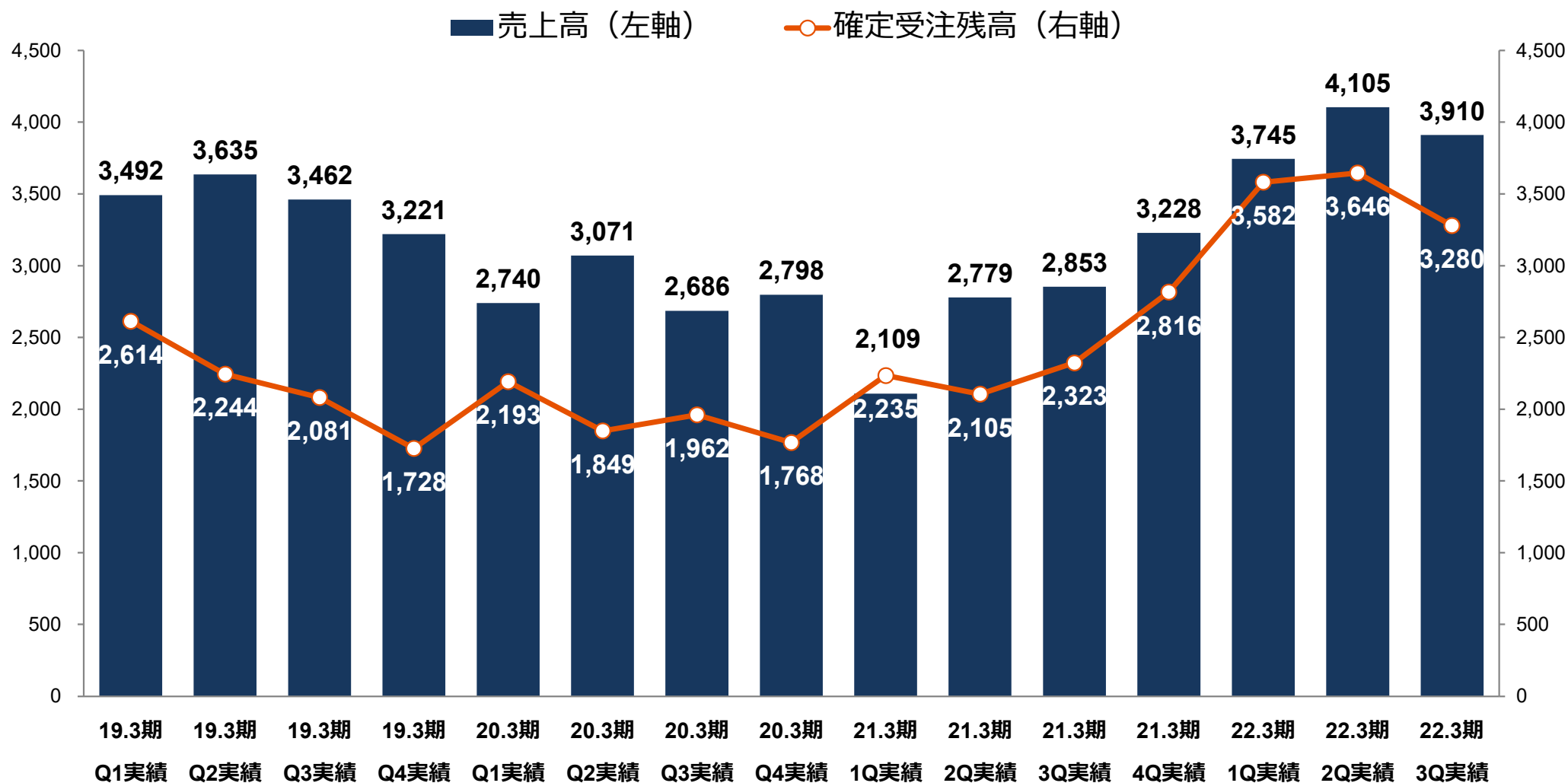
Currency	Incoming		Outgoing		Net	期中 平均レート (JPY)	円高ケース (10%)			円安ケース (10%)		
	各通貨	構成比	各通貨	構成比	各通貨		期中平均 レート ▲10% (JPY)	レート 差額	影響額 (YTD)	期中平均 レート +10% (JPY)	レート 差額	影響額 (YTD)
JPY	¥16,500.0	73%	¥18,000.0	69%	¥-1,500.0	-	-	-	-	-	-	-
USD	\$47.7	23%	\$57.1	24%	-\$9.4	¥111.1	¥100.00	¥-11.11	¥104.44	¥122.22	¥11.11	¥-104.44
EUR	€ 5.0	3%	€ 3.7	2%	€ 1.3	¥130.6	¥117.57	¥-13.1	¥-16.98	¥143.69	¥13.06	¥16.98
PHP	PP0.0	0%	PP540.7	5%	PP-540.7	¥2.2	¥2.02	¥-0.2	¥121.12	¥2.46	¥0.22	¥-121.12
THB	฿75.90	1%	฿29.90	0%	฿46.00	¥3.4	¥3.08	¥-0.3	¥-15.73	¥3.76	¥0.34	¥15.73
Total	-	100%	-	100%	-	-	-	-	¥192.85	-	-	¥-192.85

(単位：百万円)





(単位：百万円)



# 2022年3月期 第3四半期 実績 (2021/10-12) - 全社費用を含めたPL



		2021/3期	2022/3期	前年同期比	
		Q3 実績	Q3 実績	増減額 (百万円)	増減率
		金額 (百万円)	金額 (百万円)		
売上高		3,831	4,632	801	20.9%
	建機用フィルタ※	2,853	3,910	1,056	37.0%
	エアフィルタ	669	642	△27	△4.1%
	ヘルスケア	308	79	△228	△74.1%
営業利益 (セグメント利益)		△96	225	322	-
	建機用フィルタ※	29	350	321	1,106.9%
	エアフィルタ	△1	△18	△17	-
	ヘルスケア	△124	△106	18	-
<b>営業利益率</b>		<b>△2.5%</b>	<b>4.9%</b>	<b>7.4Pt</b>	
経常利益		△72	202	275	-
<b>経常利益率</b>		<b>△1.9%</b>	<b>4.4%</b>	<b>6.3Pt</b>	
四半期純利益		536	△416	△953	△158.2%
<b>四半期純利益率</b>		<b>14.0%</b>	<b>△9.0%</b>	<b>△23.0Pt</b>	
為替レート (円) (期中平均値)	USD	106.1	111.1	5.0	4.7%
	EUR	122.4	130.6	8.3	6.7%

※「建機用フィルタ」には、建機用フィルタ、産業用フィルタ、プロセス用フィルタを含みます。

# 2022年3月期 第3四半期 累計実績（2021/4-12） - 全社費用を含めたPL



	2021/3期 Q3累計 実績		2022/3期 Q3累計 実績		前年同期比	
	金額（百万円）	金額（百万円）	金額（百万円）	金額（百万円）	増減額（百万円）	増減率
売上高	10,394	14,188	3,793	36.5%		
建機用フィルタ※	7,742	11,768	4,026	52.0%		
エアフィルタ	1,957	1,894	△63	△3.3%		
ヘルスケア	694	526	△168	△24.3%		
営業利益（セグメント利益）	△146	1,113	1,260	-		
建機用フィルタ※	△165	1,537	1,704	-		
エアフィルタ	37	△81	△119	△421.6%		
ヘルスケア	△18	△342	△324	-		
<b>営業利益率</b>	<b>△1.4%</b>	<b>7.8%</b>	<b>9.3Pt</b>			
経常利益	△133	1,078	1,212	-		
<b>経常利益率</b>	<b>△1.3%</b>	<b>7.6%</b>	<b>8.9Pt</b>			
四半期純利益	384	△88	△472	△122.9%		
<b>四半期純利益率</b>	<b>3.7%</b>	<b>△0.6%</b>	<b>△4.3Pt</b>			
為替レート（円） （期中平均値）	USD	106.1	111.1	5.0	4.7%	
	EUR	122.4	130.6	8.3	6.7%	

※「建機用フィルタ」には、建機用フィルタ、産業用フィルタ、プロセス用フィルタを含みます。

		2021/3期 実績	2022/3期 期初予想	2022/3期 修正予想	期初予想比
		金額 (百万円)	金額 (百万円)	金額 (百万円)	増減額 (百万円)
売上高		14,587	16,600	19,130	2,530
	建機用フィルタ※	10,970	12,000	16,000	4,000
	エアフィルタ	2,607	3,000	2,500	△500
	ヘルスケア	1,009	1,600	630	△970
営業利益		△145	1,500	1,950	450
	建機用フィルタ※	22	960	2,360	1,400
	エアフィルタ	△18	300	△100	△400
	ヘルスケア	△150	240	△310	△550
<b>営業利益率</b>		<b>△1.0%</b>	<b>9.0%</b>	<b>10.2%</b>	<b>1.2Pt</b>
経常利益		△135	1,470	1,920	450
<b>経常利益率</b>		<b>△0.9%</b>	<b>8.9%</b>	<b>10.0%</b>	<b>1.2Pt</b>
当期純利益		750	960	430	△530
<b>当期純利益率</b>		<b>5.1%</b>	<b>5.8%</b>	<b>2.2%</b>	<b>△3.5Pt</b>
為替レート (円)	USD	106.1	105.0	110.0	4.8%
	EUR	123.7	125.0	130.0	4.0%

※「建機用フィルタ」には、建機用フィルタ、産業用フィルタ、プロセス用フィルタを含みます。

The Specialist in Filtration  
**YAMASHIN** 



この資料に記載されている業績の見通し等将来に関する情報は、現在入手可能な情報に基づいて作成しております  
実際の業績は市場動向や業績情勢等の様々な要因等によって異なる可能性があります

この資料に関するお問い合わせは ヤマシンフィルタ株式会社 広報・IR担当まで

TEL 045-680-1680

E-mail [ir@yamashin-filter.co.jp](mailto:ir@yamashin-filter.co.jp)